

登録数一部位別 <2016年>

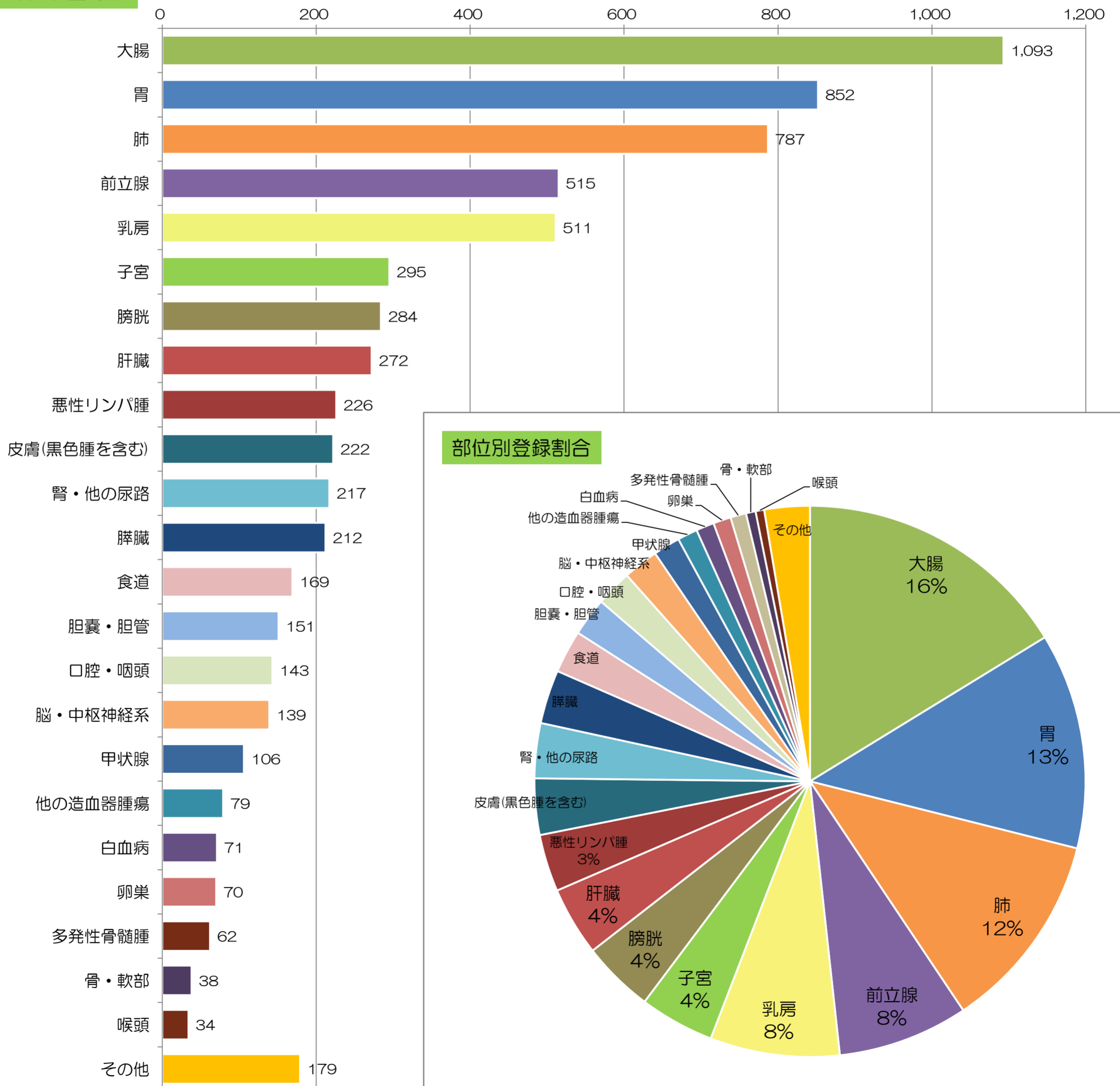
登録数は、男性は3,951件、女性は2,776件で合計は6,727件となる。

部位別には、男性では、大腸が最も多く658件、次いで胃が598件、肺が568件、前立腺が515件、膀胱230件、女性では、乳房が最も多く508件、次いで大腸が435件、子宮が295件、胃が254件、肺が219件の順となる。

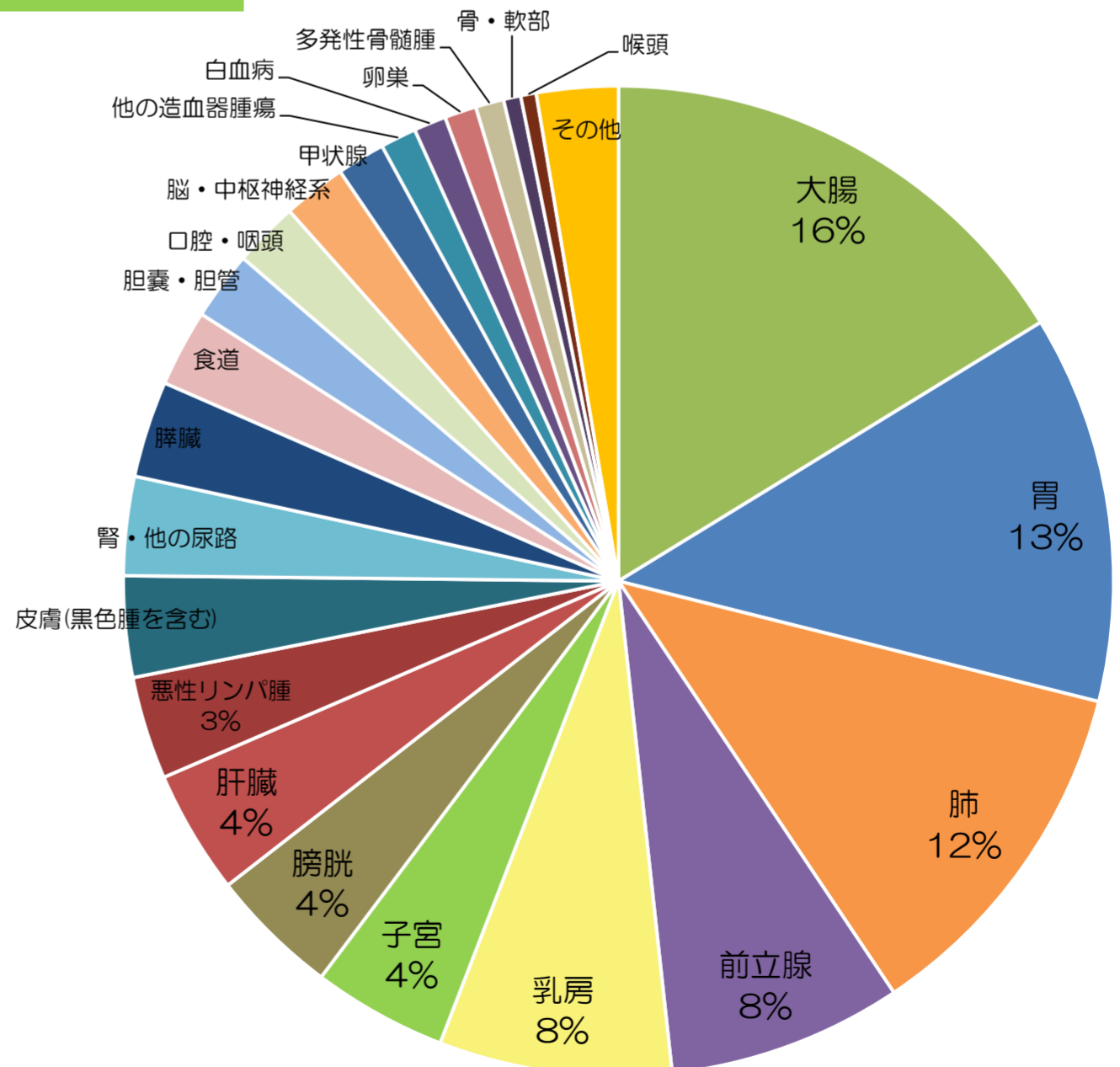
男女別割合は、男性が59%、女性が41%で、脳・中枢神経系、甲状腺、骨・軟部以外のほとんどの部位で男性が多い。男性の登録数が女性の登録数の2倍以上を示す部位は、食道で最も大きく6倍、次いで膀胱が4倍、口腔・咽頭、胃、肝臓、肺、腎臓などが2倍である。

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	喉頭	肺	骨・軟部	皮膚(黒色腫を含む)	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	腎・他の尿路	脳・中枢神経系	甲状腺	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の造血器腫瘍	その他	合計
男性	97	145	598	658	187	78	123	31	568	16	116	(1-3)	-	-	515	230	144	62	26	127	38	43	49	97	3,951
女性	46	24	254	435	85	73	89	(1-3)	219	22	106	508	295	70	-	54	73	77	80	99	24	28	30	82	2,776
合計	143	169	852	1,093	272	151	212	34	787	38	222	511	295	70	515	284	217	139	106	226	62	71	79	179	6,727

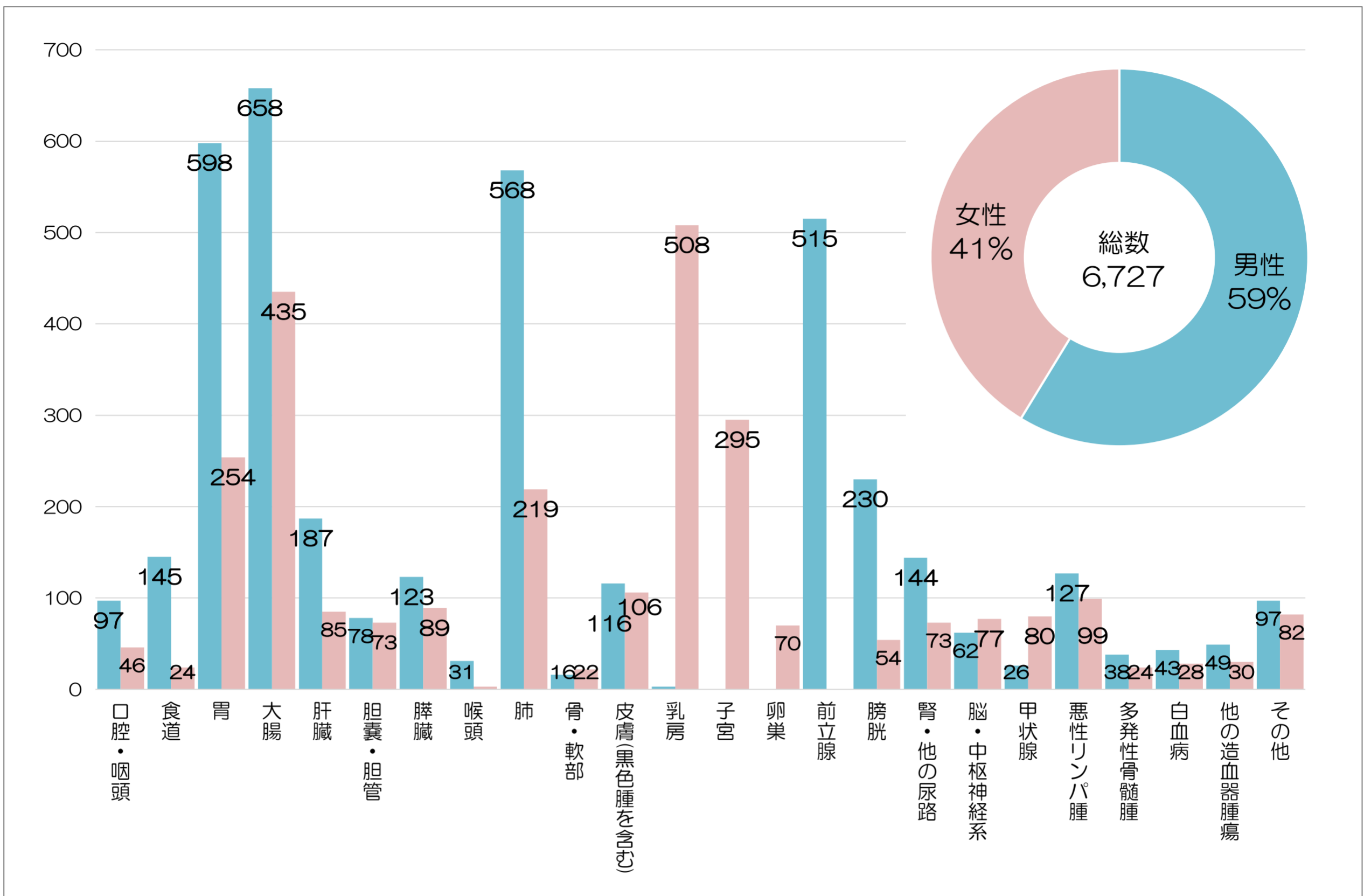
部位別登録数



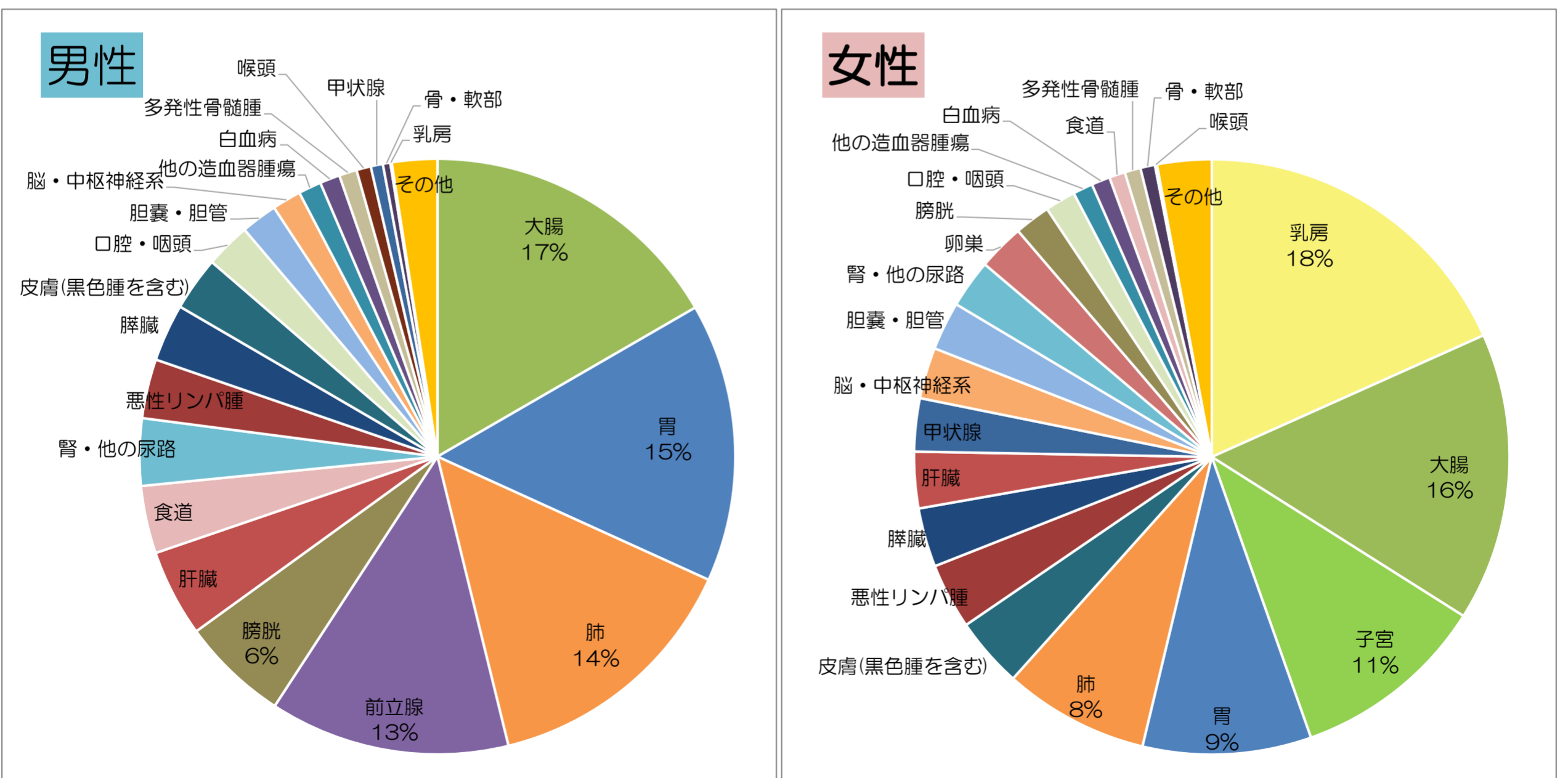
部位別登録割合



登録数一部位別【男女別】 <2016年>



部位別登録割合【男女別】 <2016年>

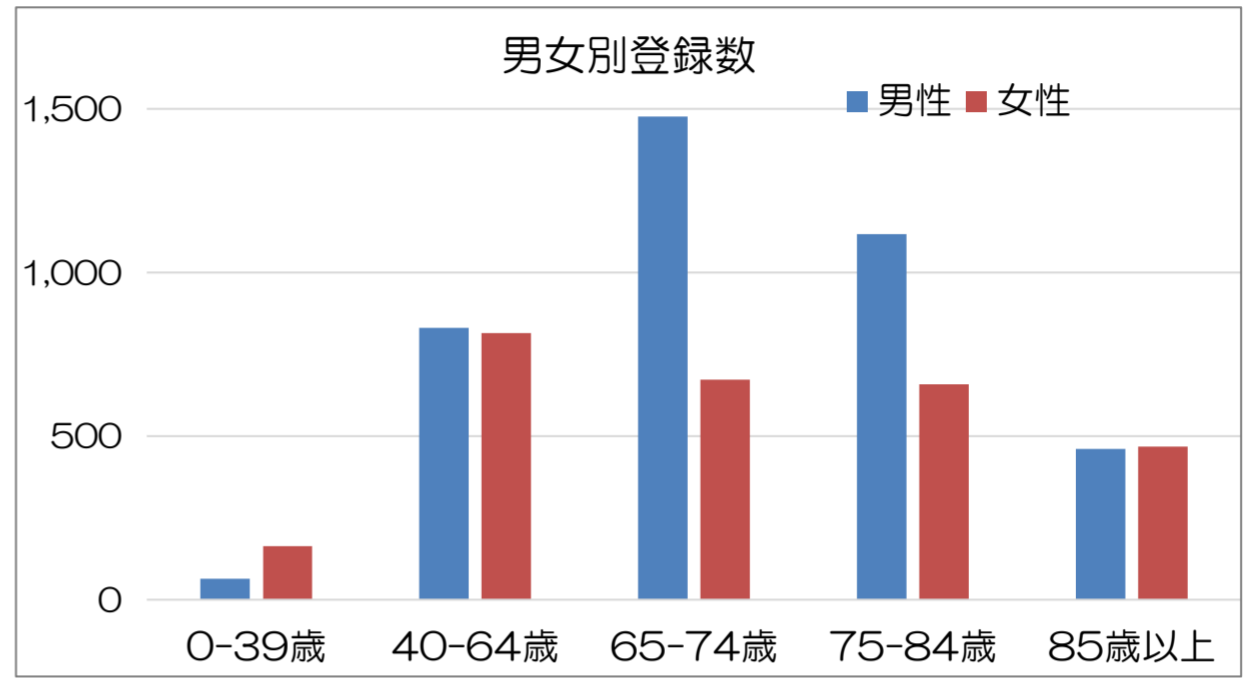


登録数—年齢階級別【男女別】〈2016年〉

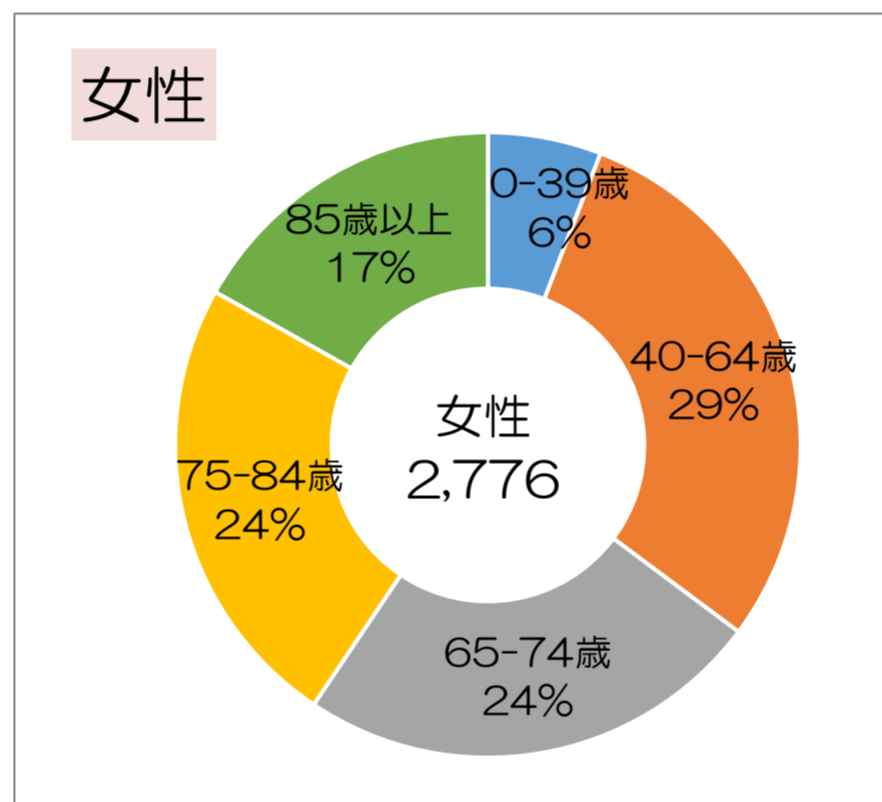
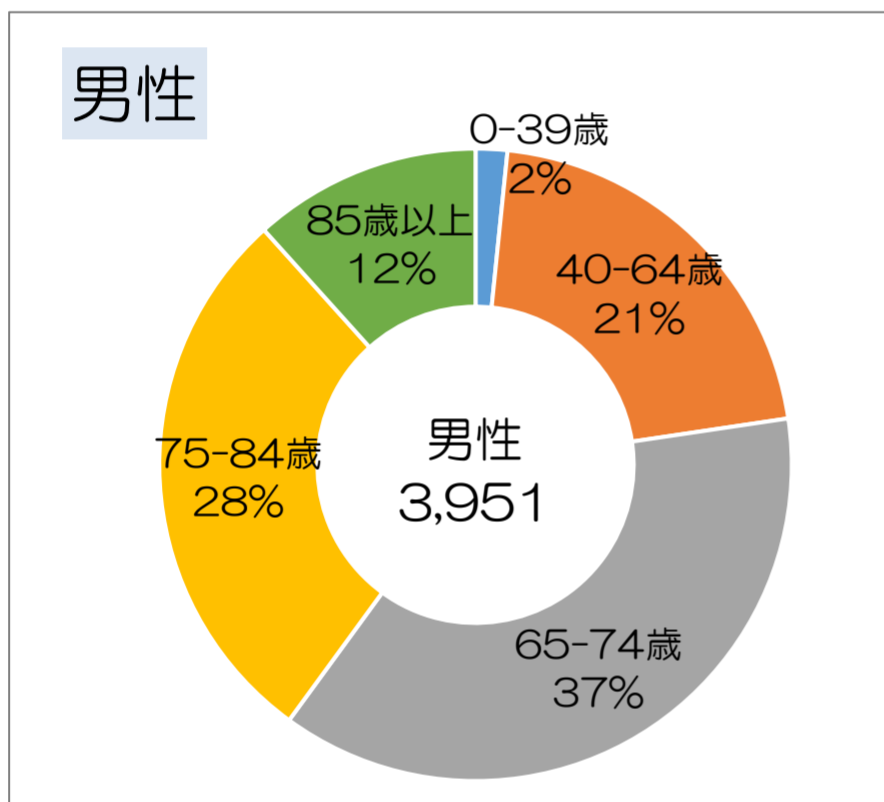
年齢階級別には、男性では、65-74歳にピークが見られる。女性では、40-64歳が最も多く、次いで65-74歳、75-84歳の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性が77%弱、女性が65%を占める。

部位別には、0-39歳の男性では、多い順に白血病、脳・中枢神経系、女性では、子宮、乳房、40-64歳の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65-74歳の男性では、大腸、肺、胃、前立腺、女性では、乳房、大腸、75-84歳の男性では、胃、前立腺、肺、大腸、女性では、大腸、胃、肺、乳房、85歳以上では、男性は肺、大腸、前立腺、胃、女性は大腸、胃である。

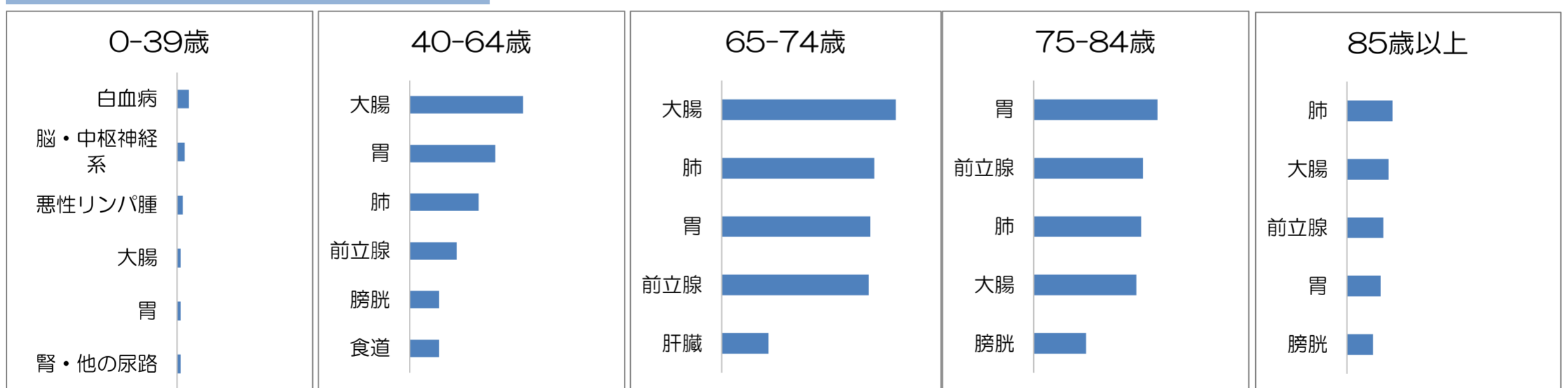
年齢階級別	登録数		
	男性	女性	合計
0-39歳	64	163	227
40-64歳	831	814	1,645
65-74歳	1,477	672	2,149
75-84歳	1,118	659	1,777
85歳以上	461	468	929
合計	3,951	2,776	6,727



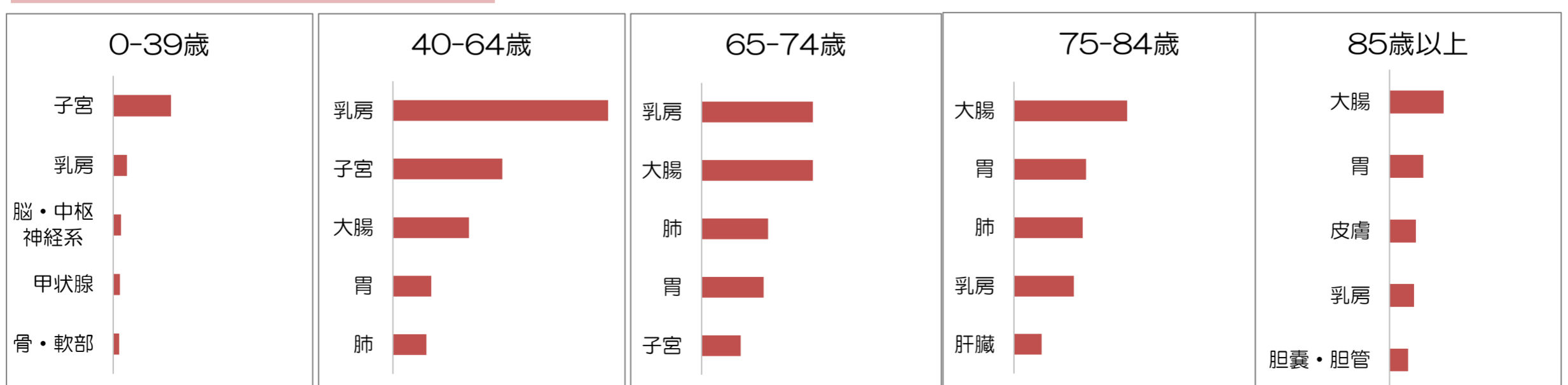
年齢階級別登録割合



年齢階級別登録数の上位5部位—男性



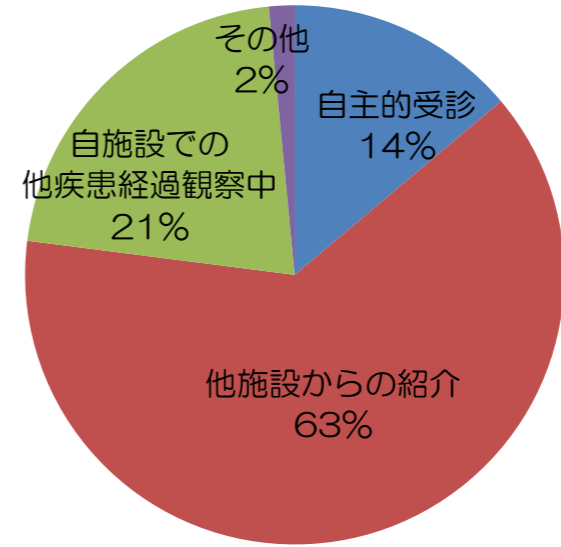
年齢階級別登録数の上位5部位—女性



来院経路別登録数 <2016年>

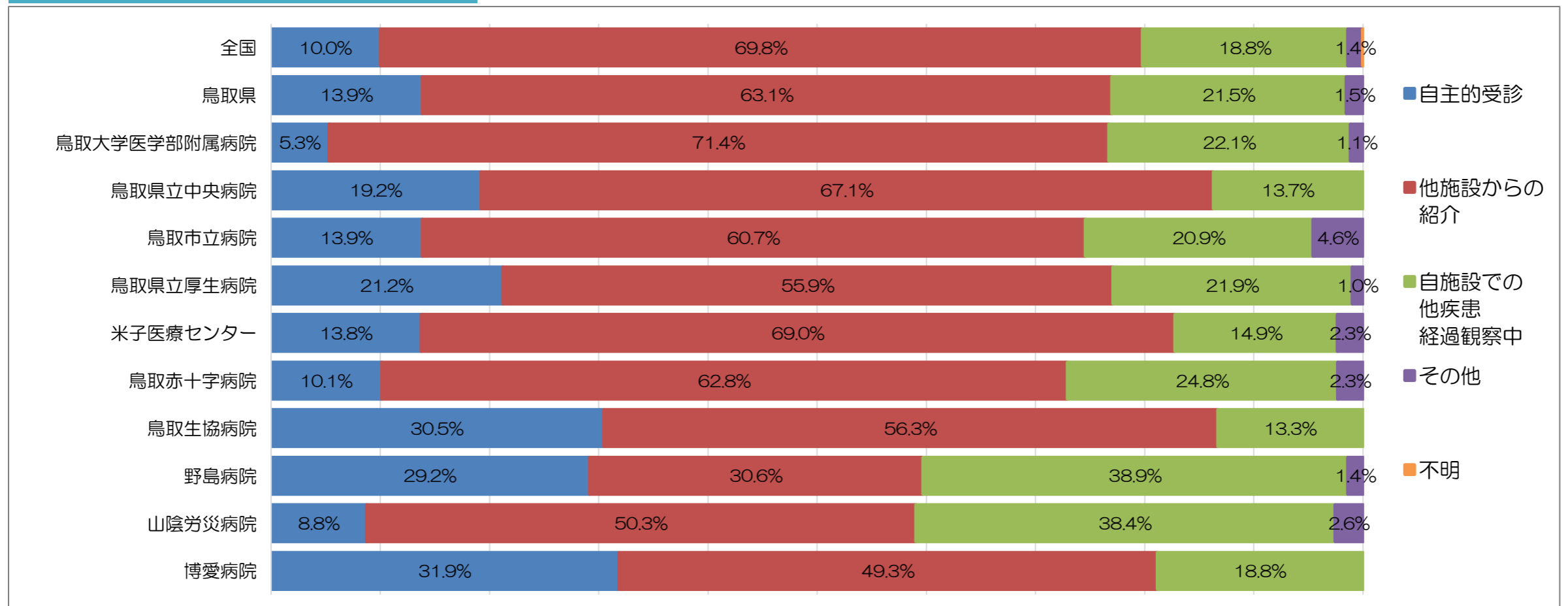
来院経路別には、「他施設からの紹介」が6割強を占めて最も多く、次いで「自施設での他疾患経過観察中」が21%、「自主的受診」は14%と少ない。
 全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少ない。
 施設別には、「自主的受診」は博愛病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院で最も多い。
 部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は子宮体部が最も多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）

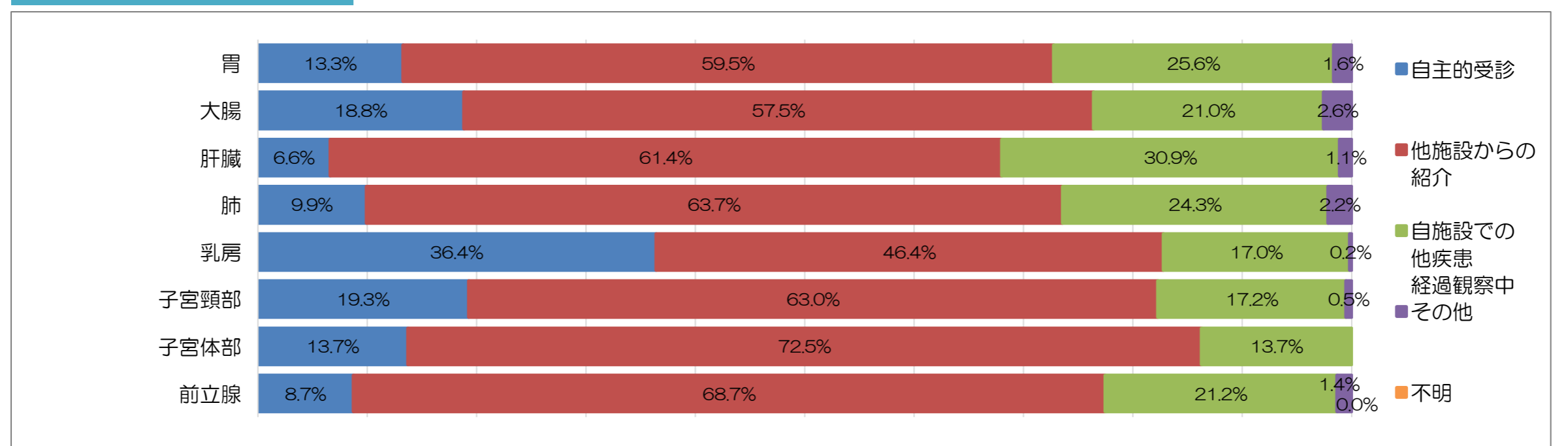


	自主的受診	他施設からの紹介	自施設での他疾患経過観察中	その他	不明	合計
全国	94,031	655,162	176,531	12,768	204	938,696
鳥取県	933	4,248	1,443	103	-	6,727
鳥取大学医学部附属病院	98	1,316	408	21	-	1,843
鳥取県立中央病院	195	680	139	-	-	1,014
鳥取市立病院	79	346	119	26	-	570
鳥取県立厚生病院	130	342	134	(4-6)	-	612
米子医療センター	100	501	108	17	-	726
鳥取赤十字病院	75	464	183	17	-	739
鳥取生協病院	78	144	34	-	-	256
野島病院	42	44	56	(1-3)	-	144
山陰労災病院	48	275	210	14	-	547
博愛病院	88	136	52	-	-	276

来院経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



来院経路別登録割合（主要部位）



発見経路別登録数 <2016年>

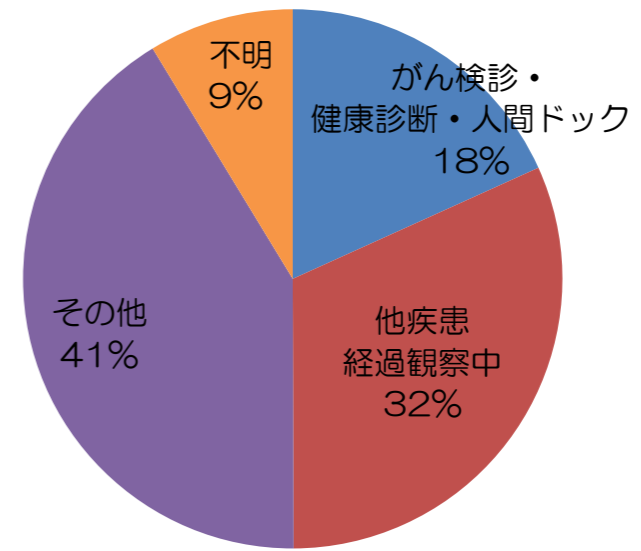
発見経緯別には、「他疾患経過観察中」が32%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は18%と少ない。

なお、「その他」と「不明」で半数を占めるので、実際にはそれ以上の割合になることが予測される。

全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は、鳥取県が全国より2.5%多く、施設別には博愛病院が最も多い。

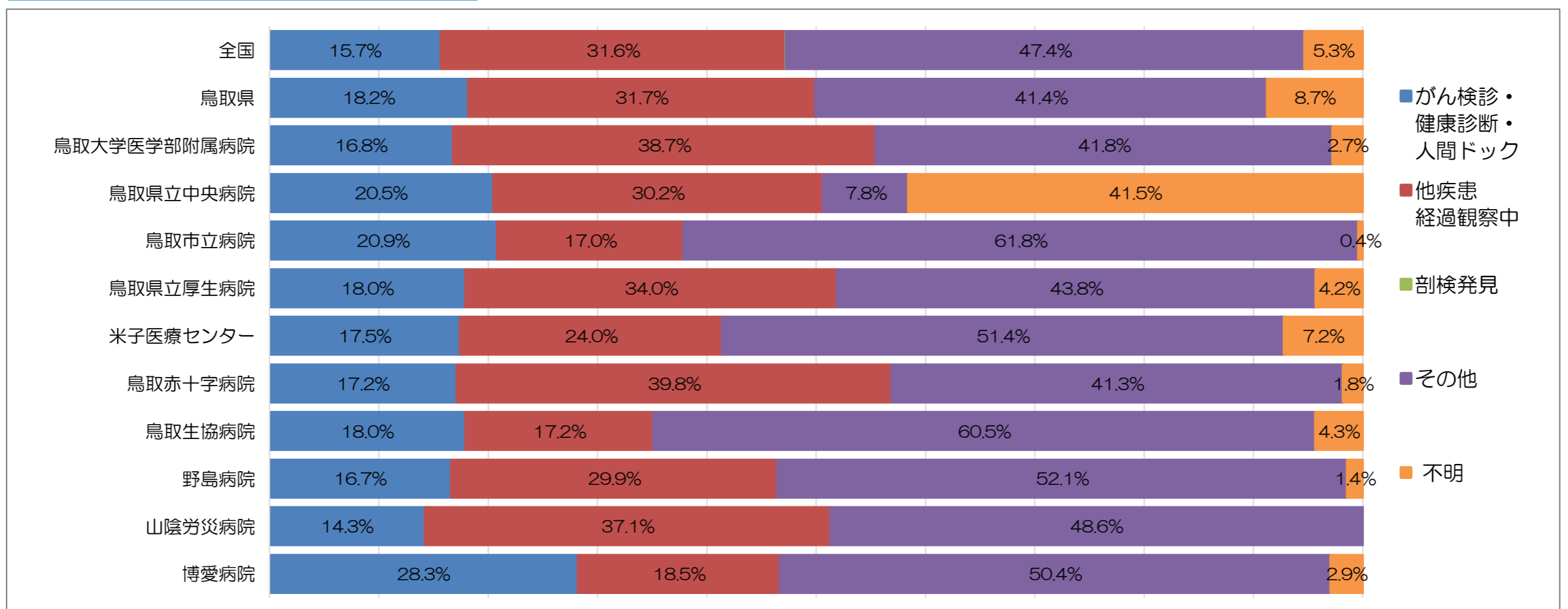
部位別には、「がん検診・健康診断・人間ドック」は子宮頸部40.6%、乳房30.3%、胃29.3%、前立腺28.5%、大腸26.0%の順で多く、「他疾患経過観察中」は肝臓が62.9%と最も多い。

発見経路別登録割合（鳥取県）

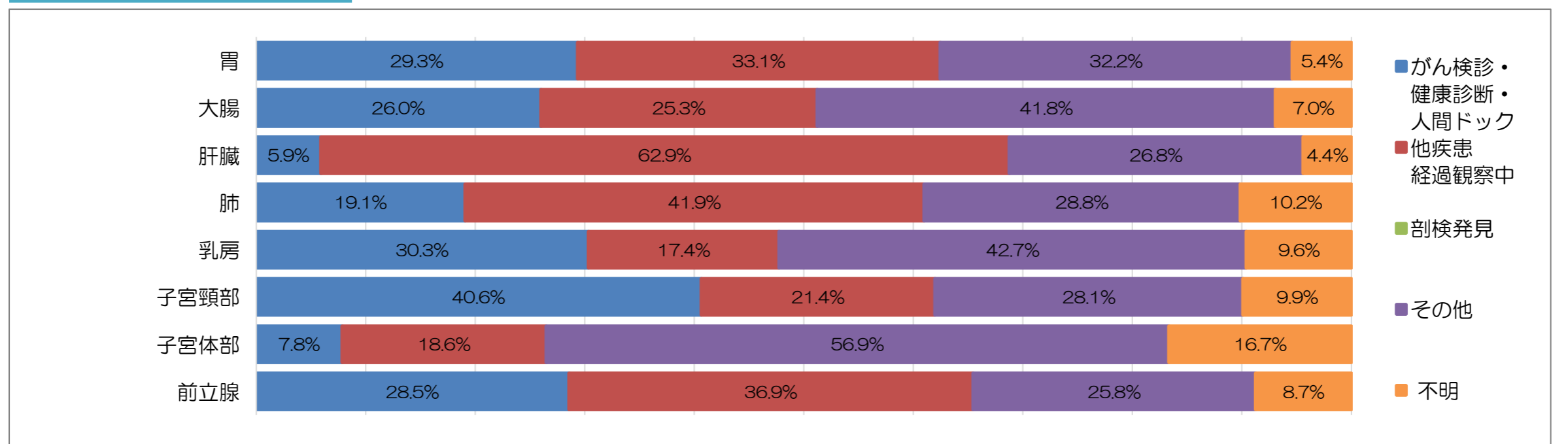


	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	合計
全国	147,385	296,403	88	445,318	49,502	938,696
鳥取県	1,227	2,133	-	2,782	585	6,727
鳥取大学医学部附属病院	310	713	-	770	50	1,843
鳥取県立中央病院	208	306	-	79	421	1,014
鳥取市立病院	119	97	-	352	(1-3)	570
鳥取県立厚生病院	110	208	-	268	26	612
米子医療センター	127	174	-	373	52	726
鳥取赤十字病院	127	294	-	305	13	739
鳥取生協病院	46	44	-	155	11	256
野島病院	24	43	-	75	(1-3)	144
山陰労災病院	78	203	-	266	-	547
博愛病院	78	51	-	139	(7-9)	276

発見経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



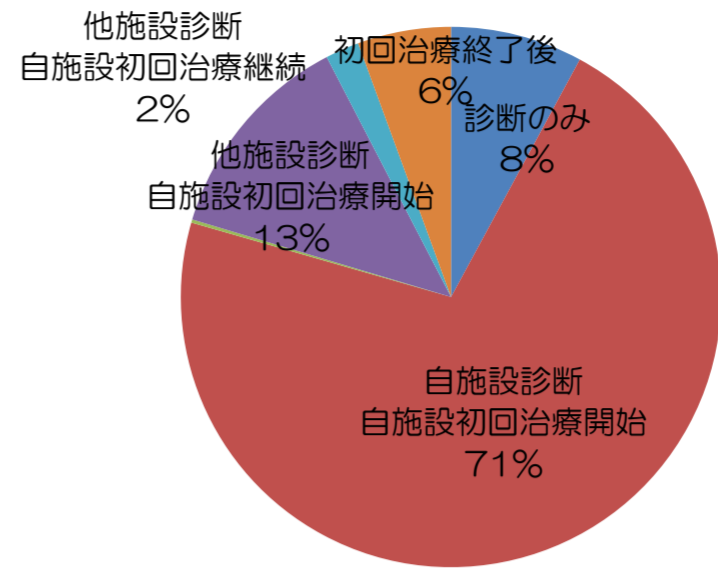
発見経路別登録割合（主要部位）



症例区分別登録数 <2016年>

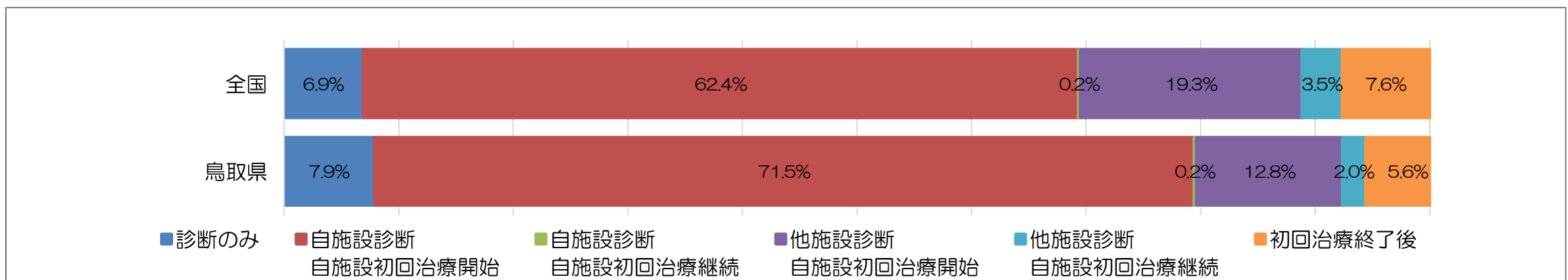
症例区分別には、「診断のみ」は8%で、ほとんどは「自施設初回治療」（71%）、「他施設診断自施設初回治療」は13%である。全国比較では、鳥取県は「自施設初回治療開始」が多く、「他施設診断初回治療」と「初回治療終了後」の割合は少ない。施設別には、「診断のみ」は博愛病院、山陰労災病院など準拠点病院で高く、拠点病院で低い。特に鳥取大学医学部附属病院では2.9%で最も低く、「他施設診断初回治療」は24.5%で最も高い。他方「初回治療終了後」は、鳥取生協病院の25.0%、米子医療センターの18.6%が顕著に高い。

症例区分別登録割合（鳥取県）

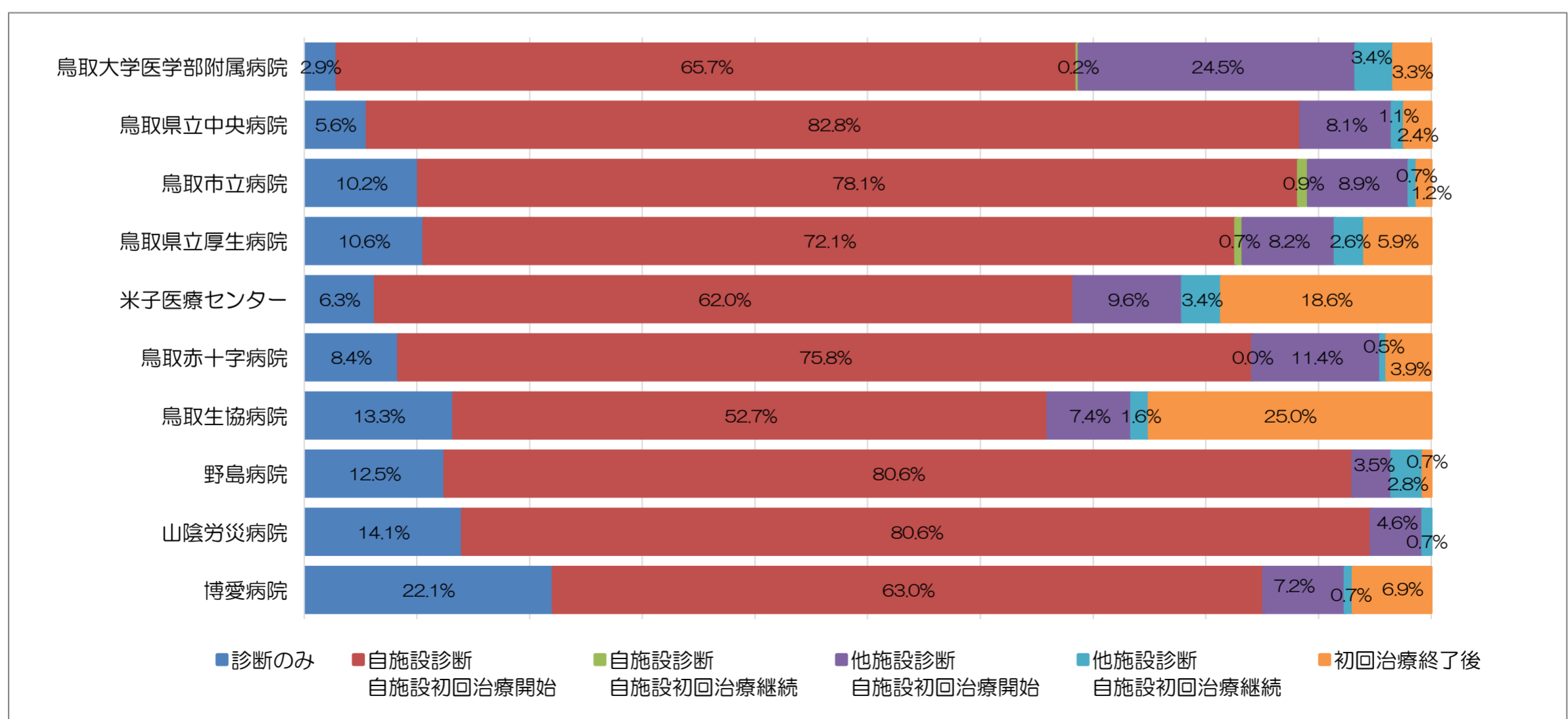


	診断のみ	自施設診断 自施設 初回治療開始	自施設診断 自施設 初回治療継続	他施設診断 自施設 初回治療開始	他施設診断 自施設 初回治療継続	初回治療終了後	合計
全国	65,002	585,971	1,692	181,418	32,988	71,625	938,696
鳥取県	532	4,812	13	858	136	376	6,727
鳥取大学医学部附属病院	54	1,210	(4-6)	452	62	61	1,843
鳥取県立中央病院	57	840	-	82	11	24	1,014
鳥取市立病院	58	445	(4-6)	51	(4-6)	(7-9)	570
鳥取県立厚生病院	65	441	(4-6)	50	16	36	612
米子医療センター	46	450	-	70	25	135	726
鳥取赤十字病院	62	560	-	84	(4-6)	29	739
鳥取生協病院	34	135	-	19	(4-6)	64	256
野島病院	18	116	-	(4-6)	(4-6)	(1-3)	144
山陰労災病院	77	441	-	25	(4-6)	-	547
博愛病院	61	174	-	20	(1-3)	19	276

症例区分別登録割合（全国・鳥取県）



症例区分別登録割合（施設別）



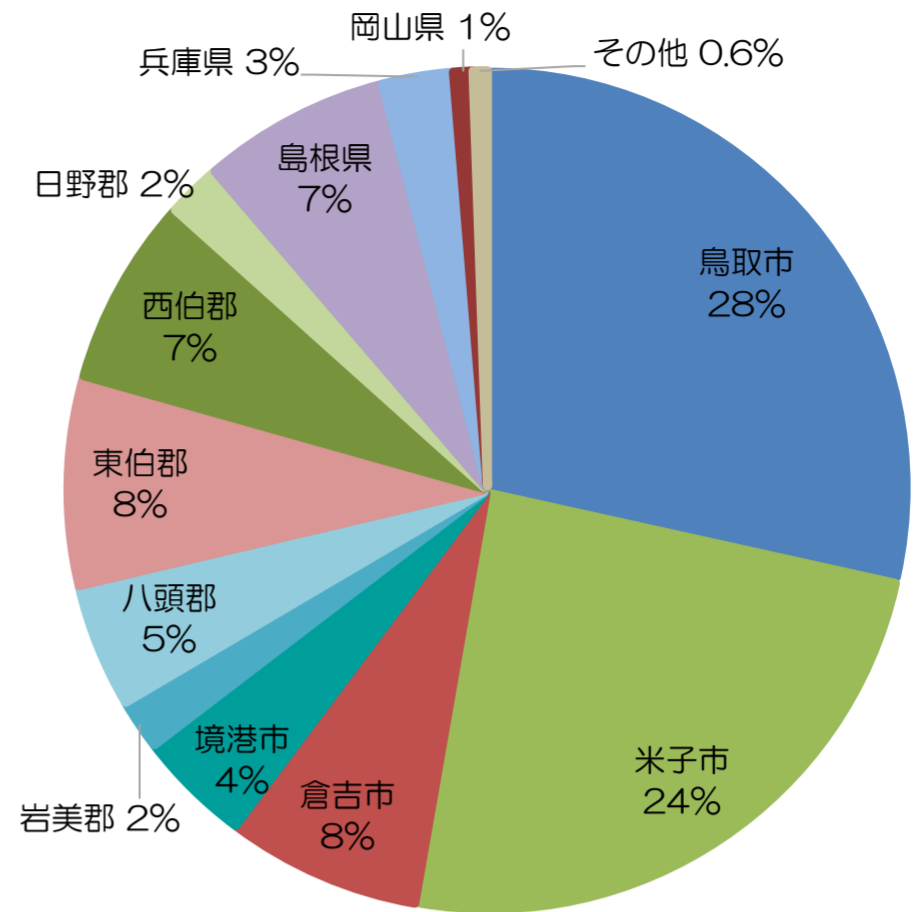
診断時住所別登録数 <2016年>

診断時住所別には、鳥取県内では、鳥取市が最も多く28%、次いで米子市の24%で、両市で半数の52%を占める。東伯郡が8%、倉吉市の8%、西伯郡の7%、八頭郡の5%、境港市の4%、岩美郡、日野郡の2%の順で続く。県外住所では、島根県が7%、兵庫県が3%、岡山県が1%を占める。

拠点病院別には東部では、鳥取県立中央病院の1,014件、次いで鳥取赤十字病院の739件、鳥取市立病院の570件、鳥取生協病院の256件である。中部では、鳥取県立厚生病院の612件、野島病院の144件、西部では、鳥取大学医学部附属病院の1,843件が最も多く、次いで米子医療センターの726件、山陰労災病院の547件、博愛病院の276件である。

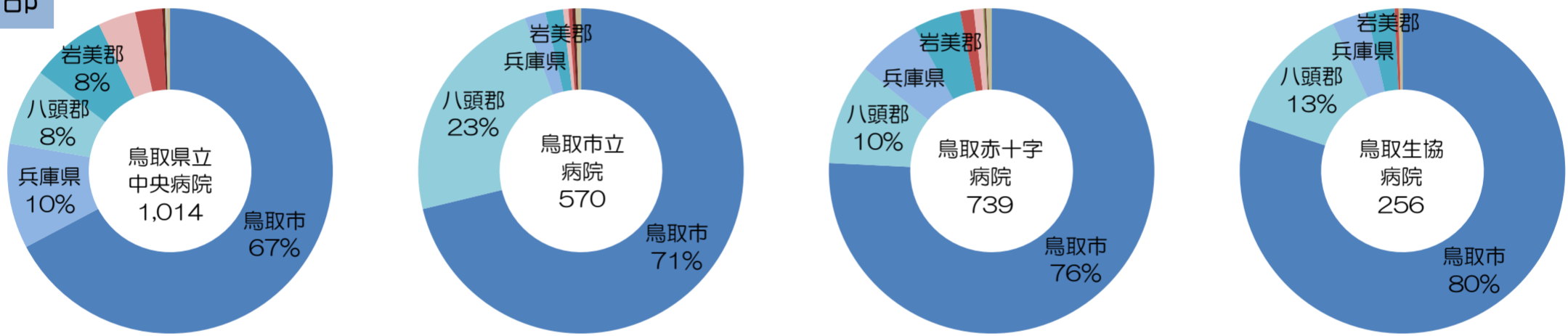
とりわけ、鳥取大学医学部附属病院は、米子市をはじめとする西部地域の診断時住所が大半であったが、島根県が21%、東伯郡、倉吉市、鳥取市など地域外からの患者がほぼ40%を占めるのが注目される。

診断時住所別登録割合(鳥取県全体)

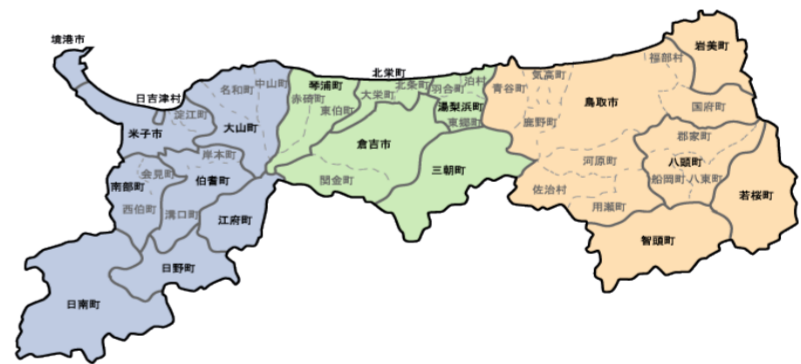
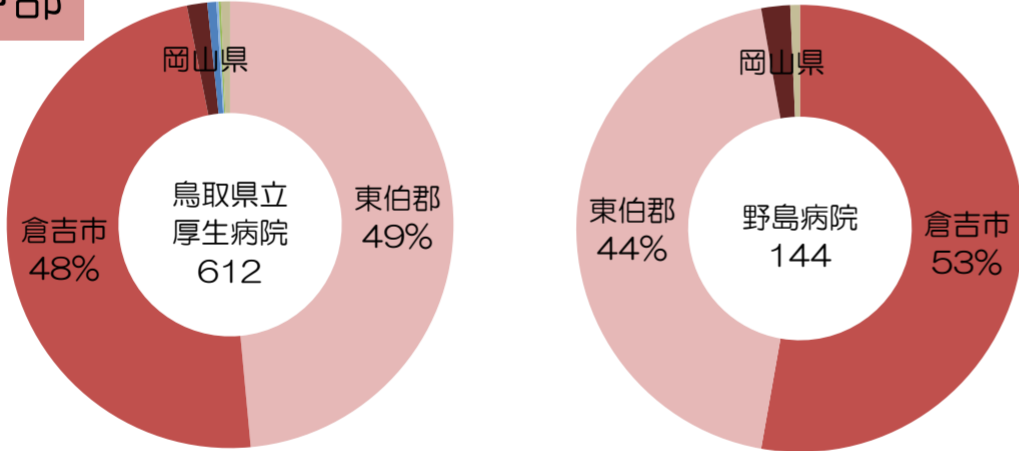


鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美郡	八頭郡	東伯郡	西伯郡	日野郡	島根県	兵庫県	岡山県	その他	合計
1,915	1,633	504	294	130	321	542	489	140	488	184	50	37	6,727

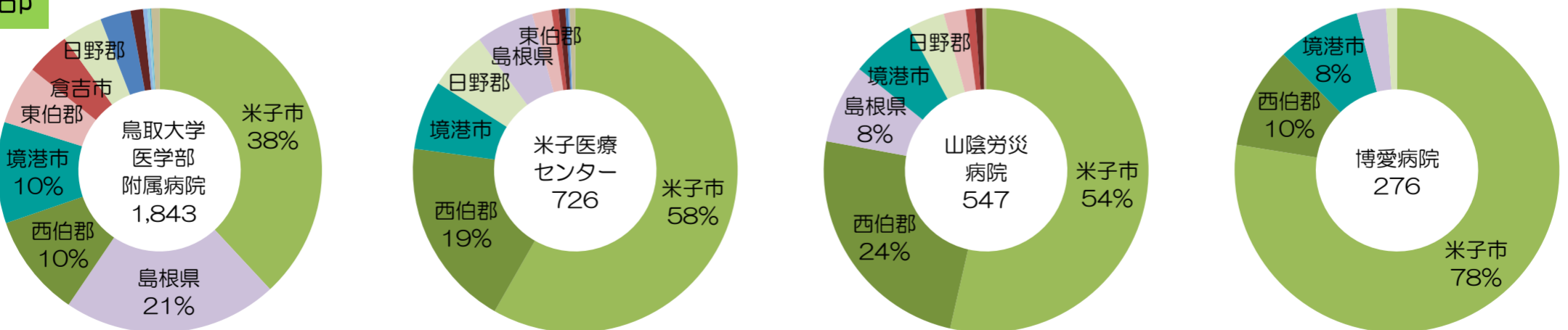
東部



中部



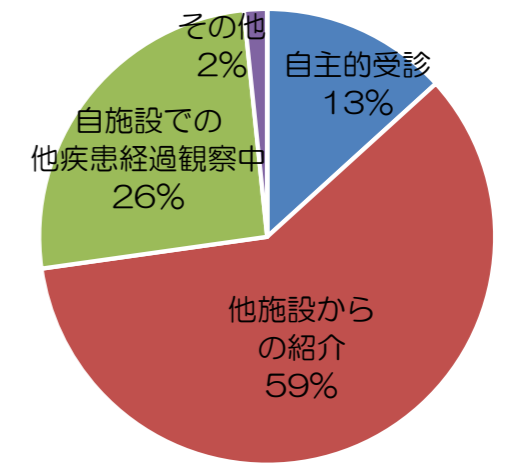
西部



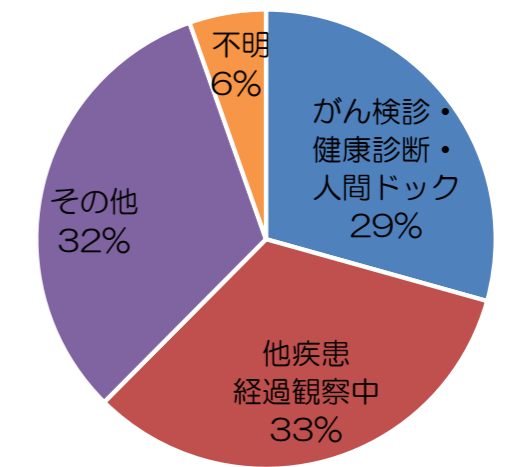
■鳥取市 ■米子市 ■倉吉市 ■境港市 ■岩美郡 ■八頭郡 ■東伯郡 ■西伯郡 ■日野郡 ■島根県 ■兵庫県 ■岡山県 ■その他

胃がんは、男性598件、女性254件で総数は852件、男性が女性の2.3倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割前後を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、その割合は全国、鳥取県ともに6割強を占める。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅲ期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

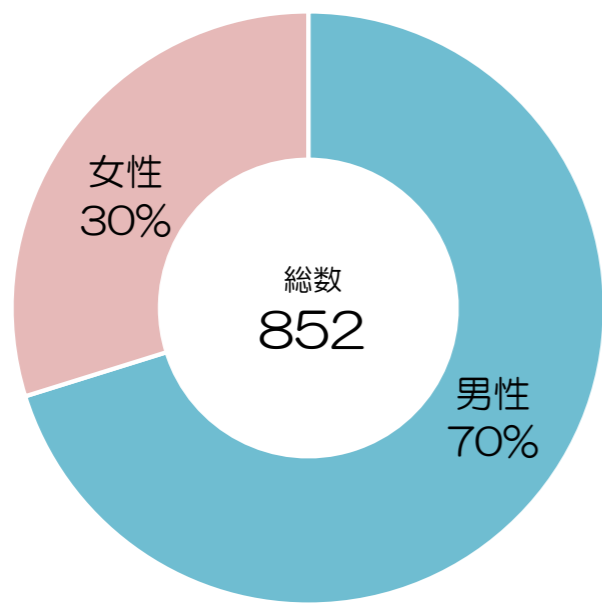
来院経路



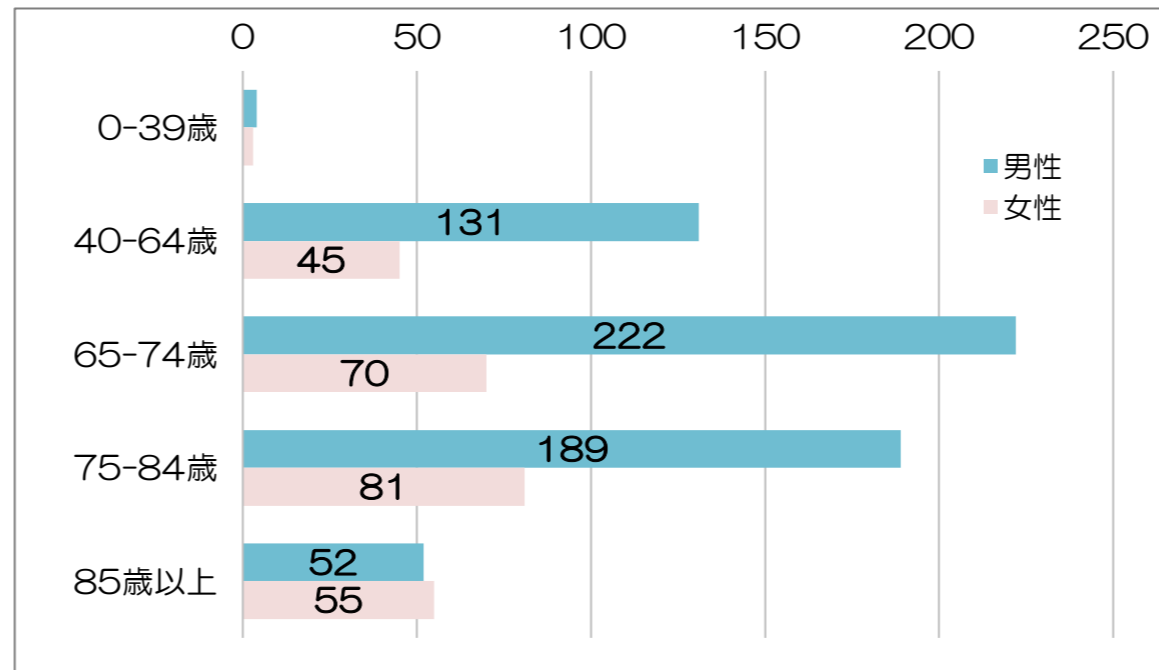
発見経緯



男女比



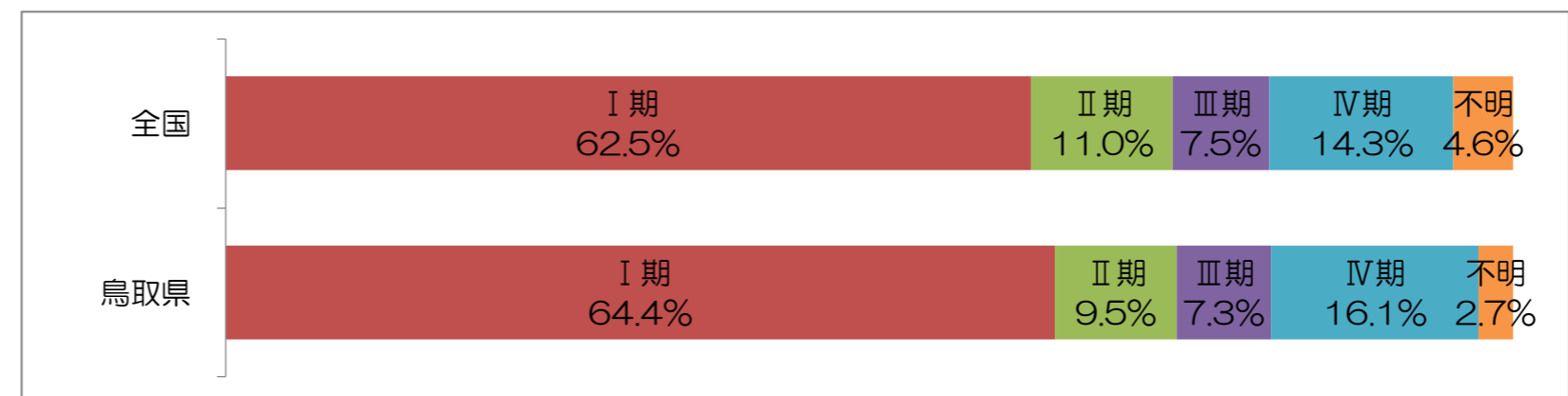
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

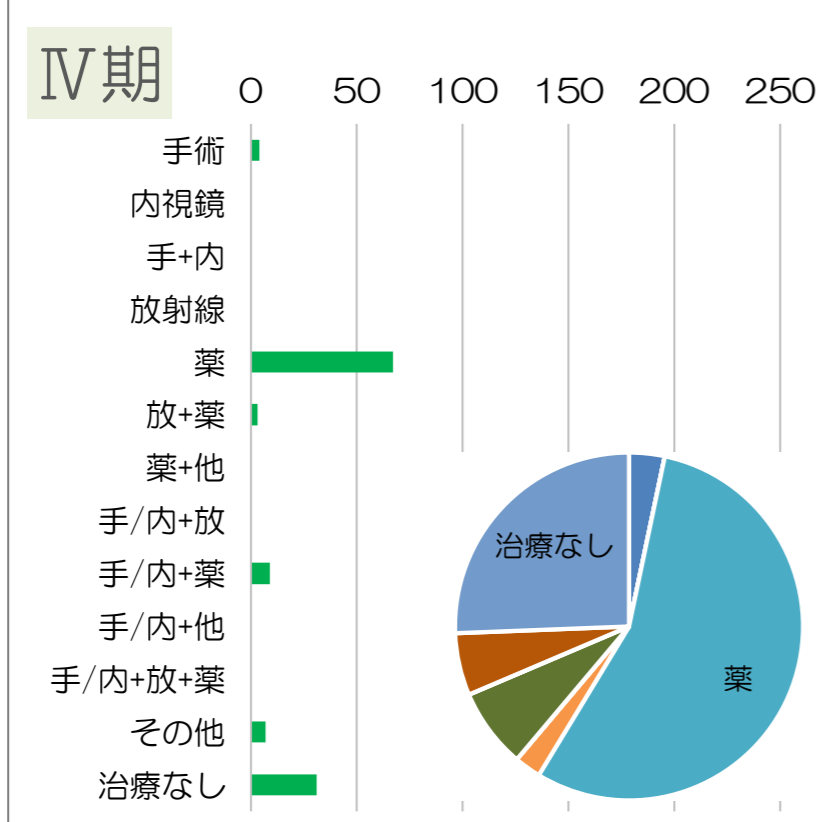
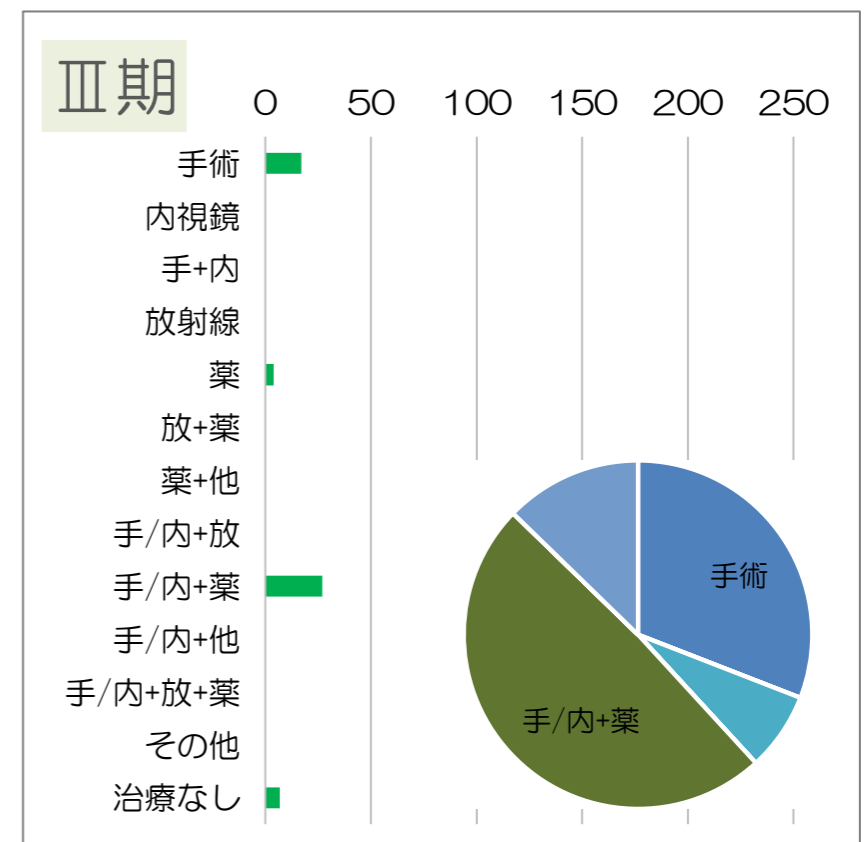
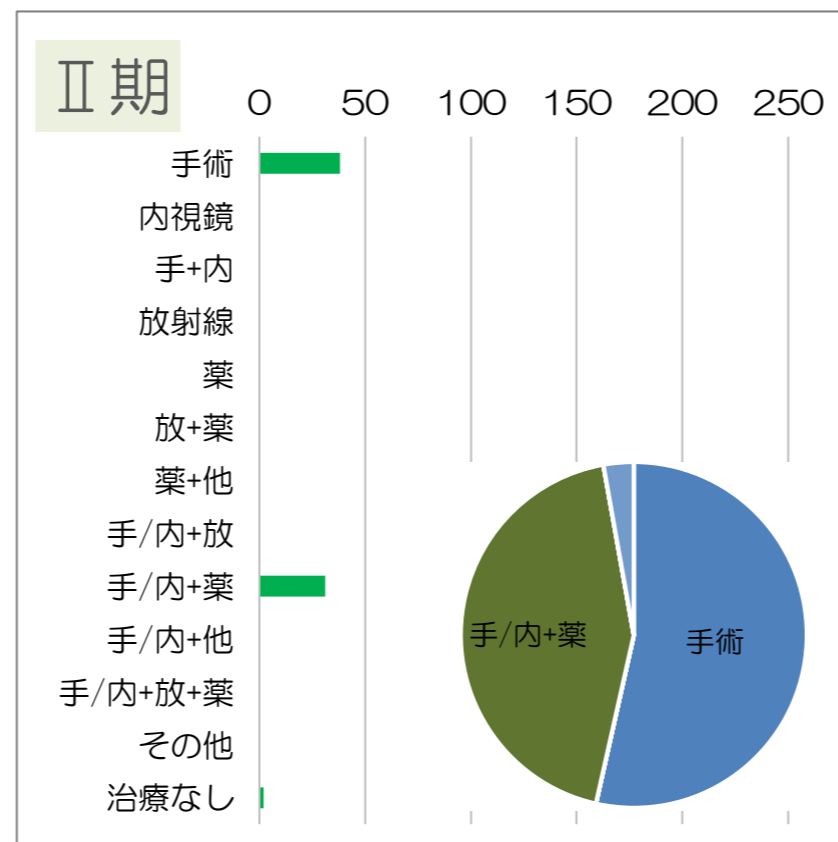
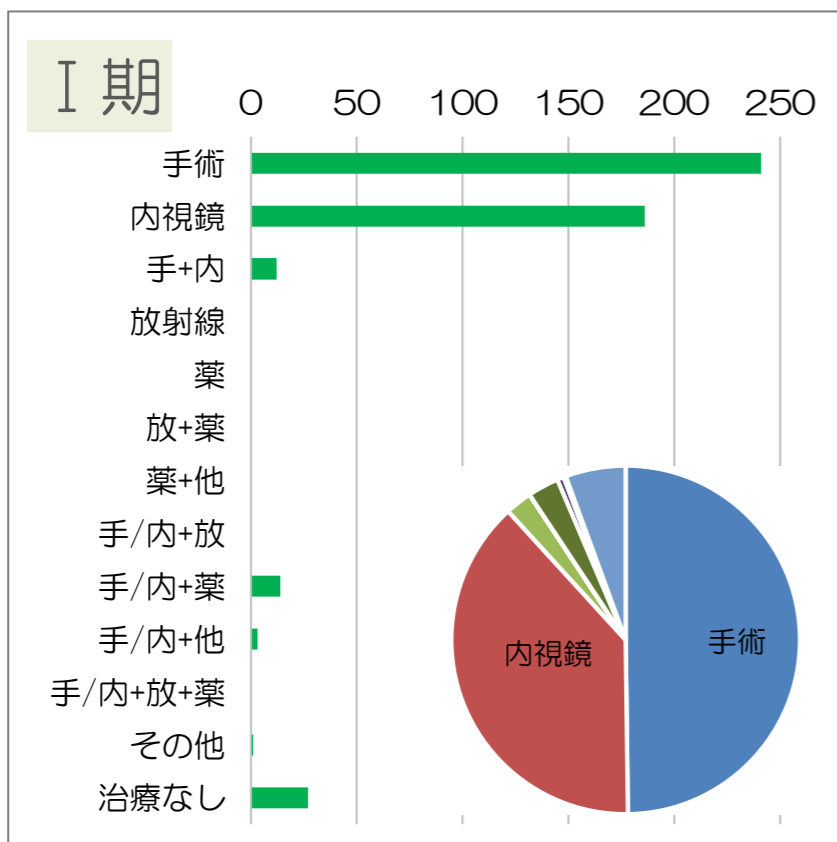
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
484	71	55	121	20	751

治療前ステージ別割合



* くステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ

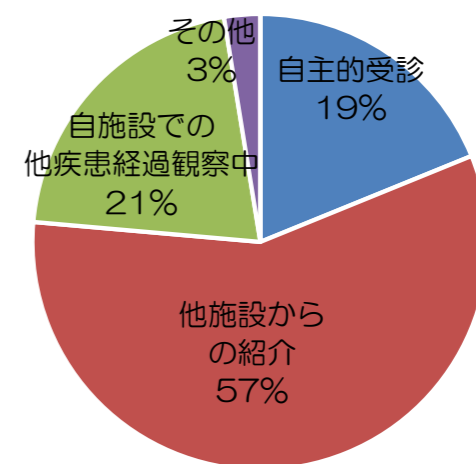
ステージ別治療方法



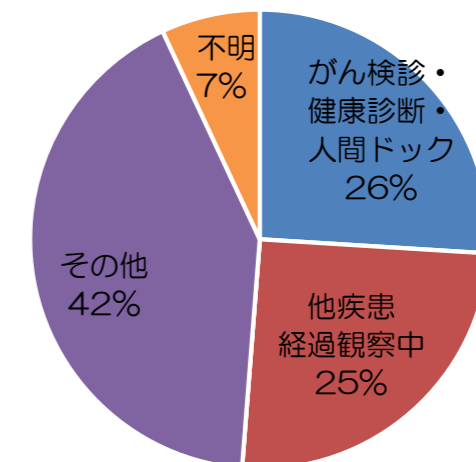
—大腸(2016)—

大腸がんは、男性658件、女性435件で総数は1,093件、男性が女性の1.5倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも7-8割を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、I期が最も多く、0期とIII期は全国が多いが、I期、II期、IV期は鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、0期では「内視鏡」、I期では「手術」、II期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、III期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、IV期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術」、「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

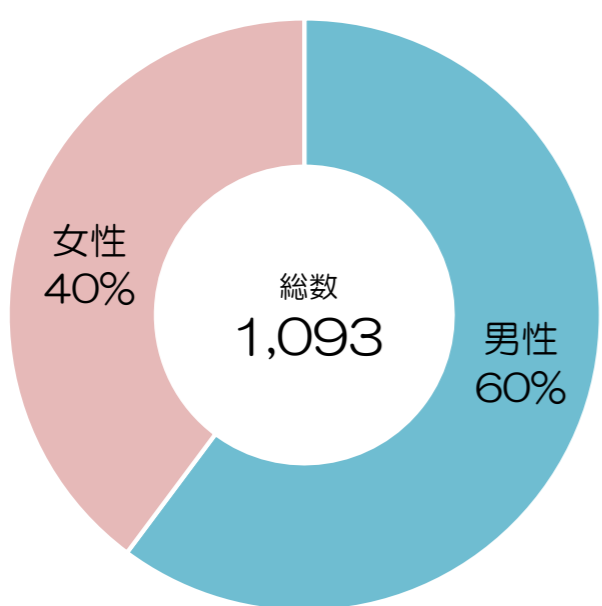
来院経路



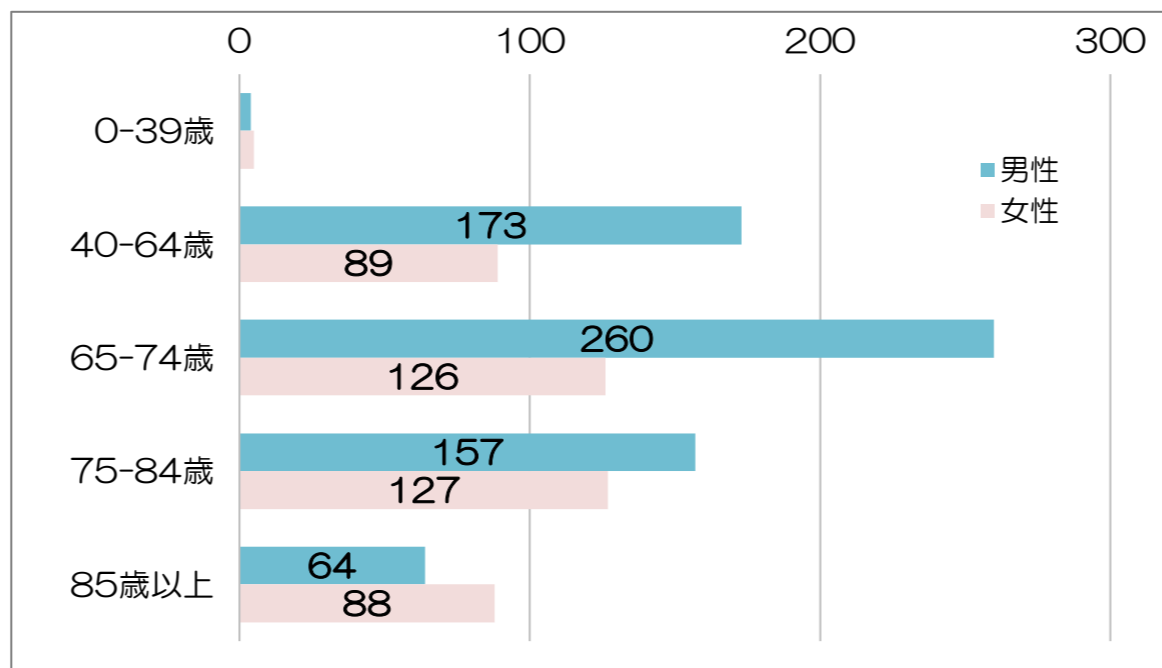
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

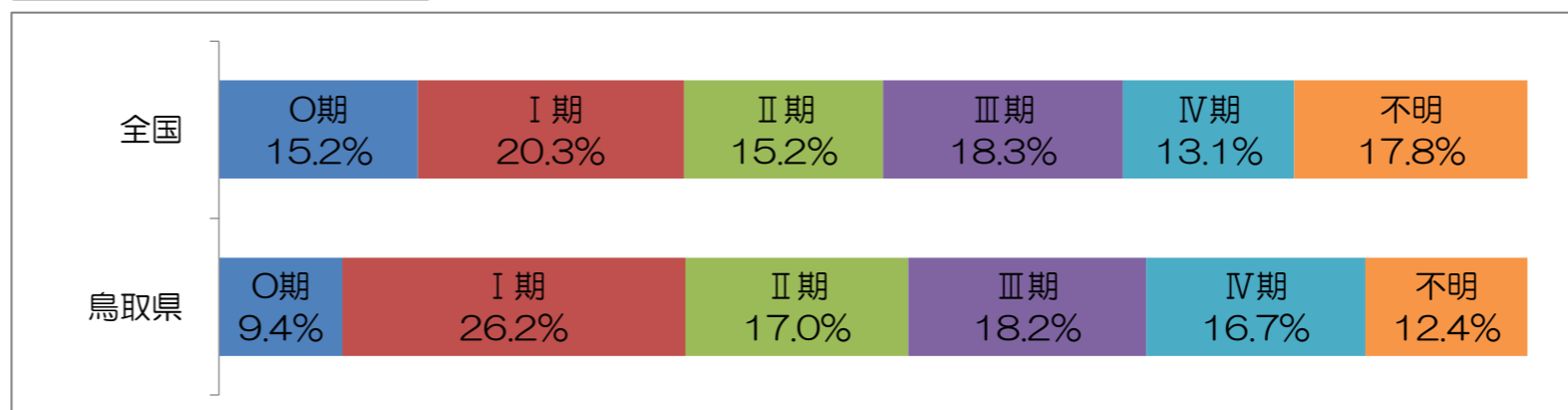


治療前ステージ別登録数

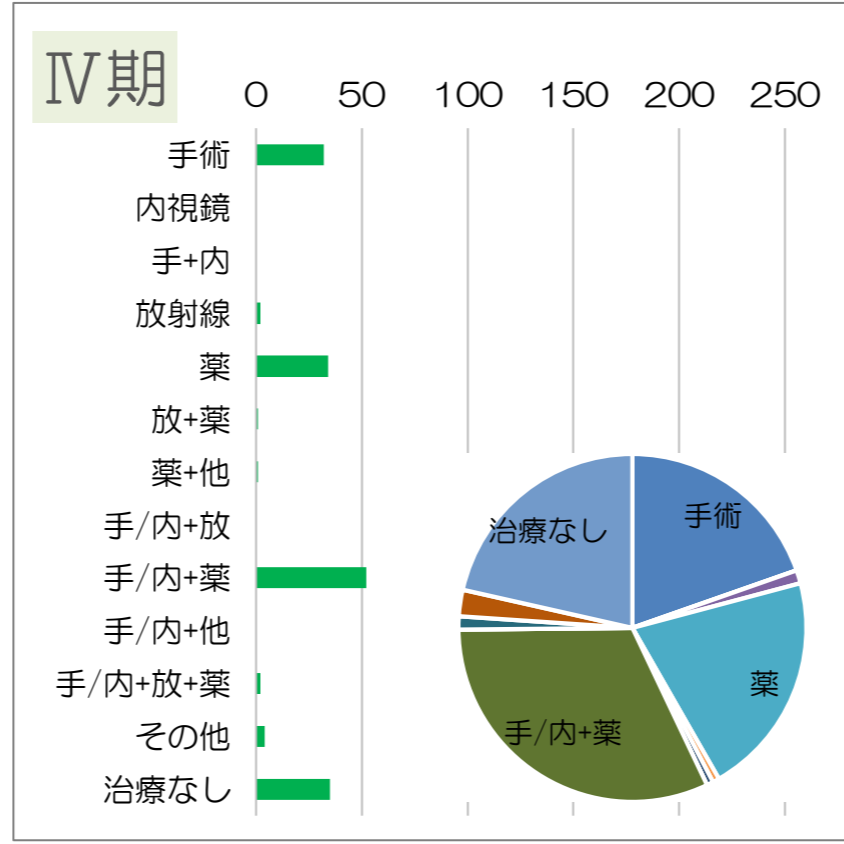
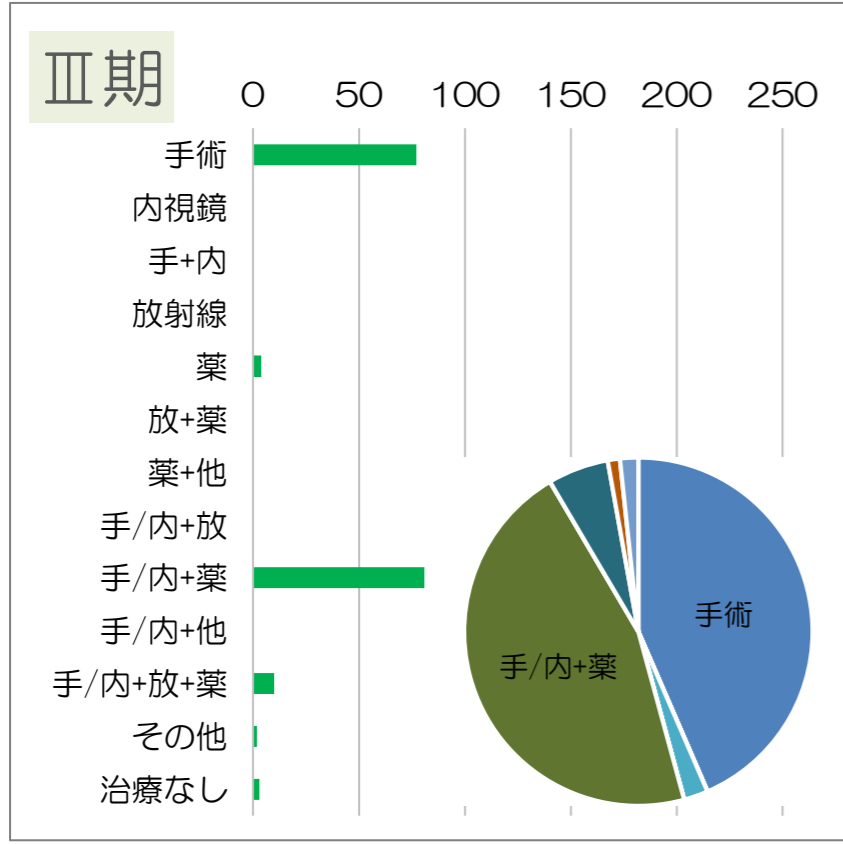
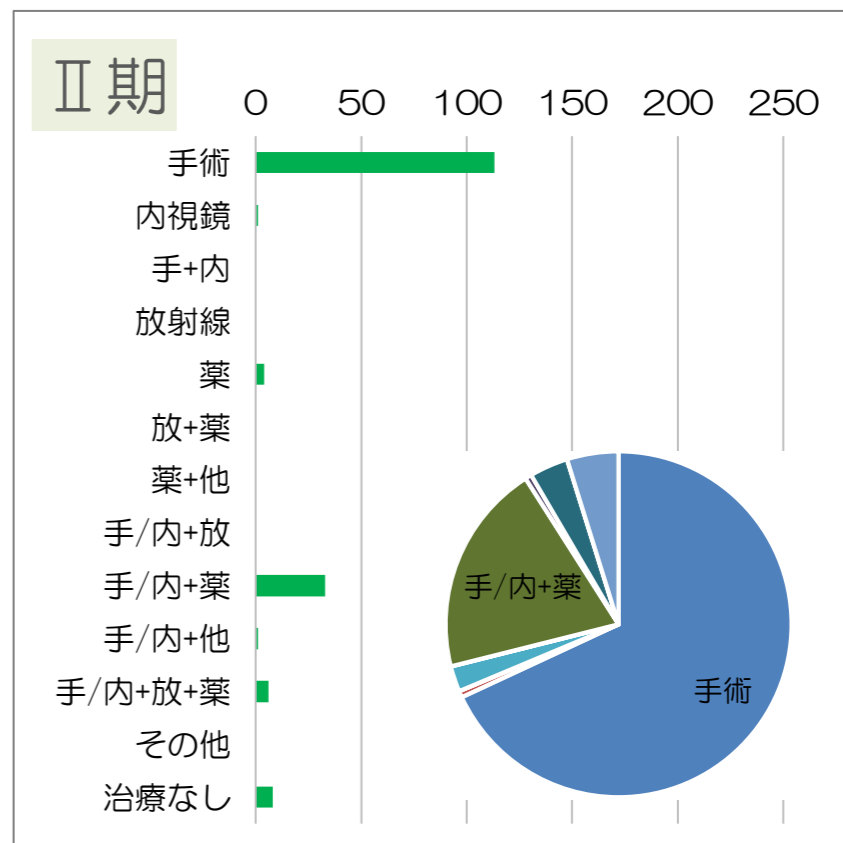
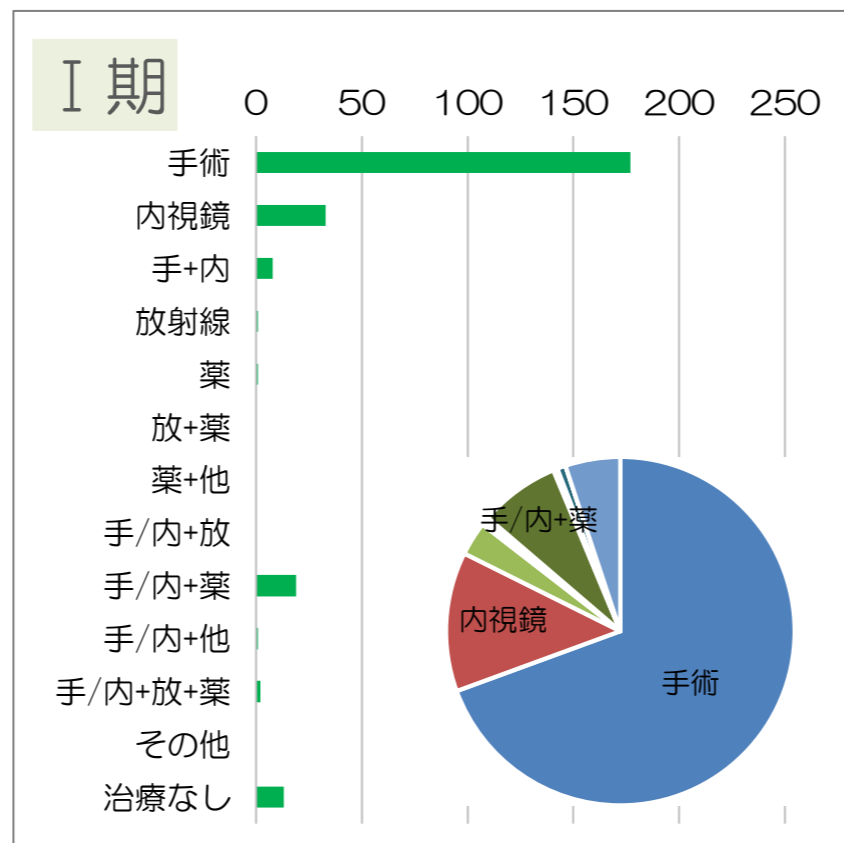
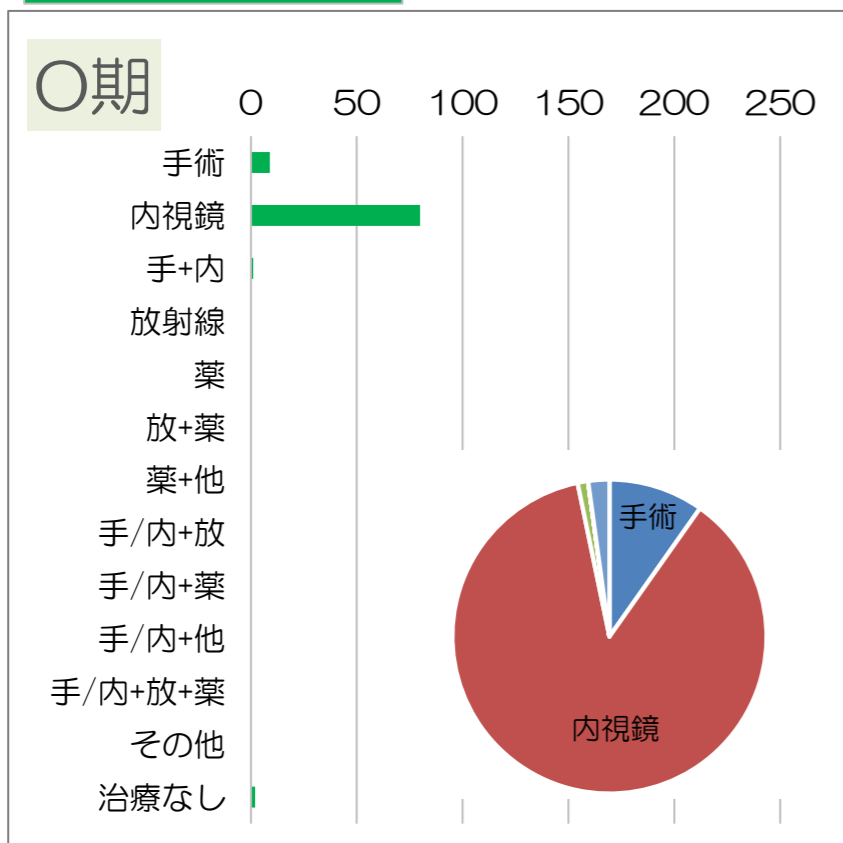
0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
92	255	166	177	163	121	974

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>



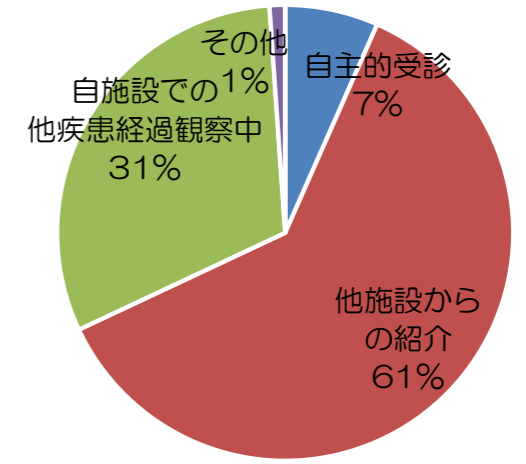
ステージ別治療方法



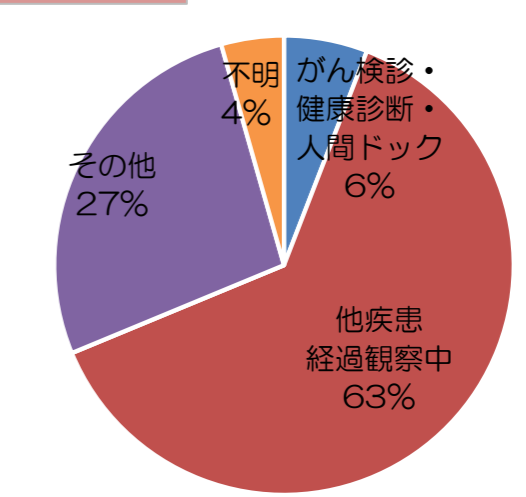
—肝臓(2016)—

肝臓がんは、男性187件、女性85件で総数は272件、男性が女性の2倍強を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも80%以上を占め、男女とも75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、I期が40%強で最も多く、その割合は全国が多いが、II期は鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、I期では「手術」、「薬物療法+その他」、「その他」、II期では
 「薬物療法+その他」、「手術」、III期、IV期ではともに「治療なし」と「薬物療法+その他」
 が大半を占めるようになる。

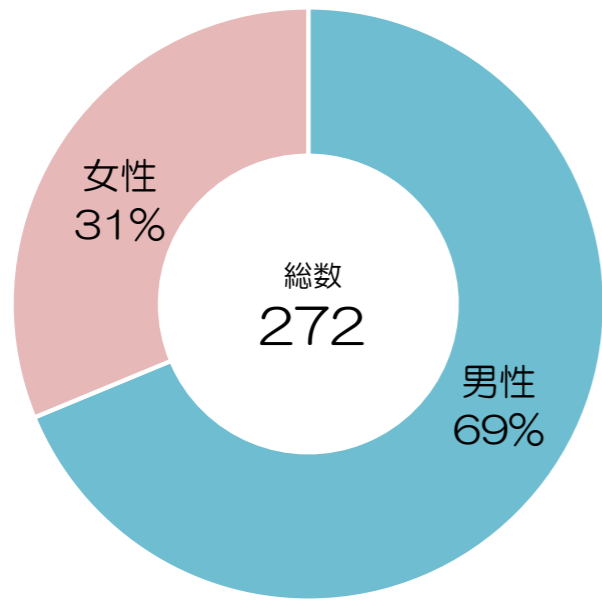
来院経路



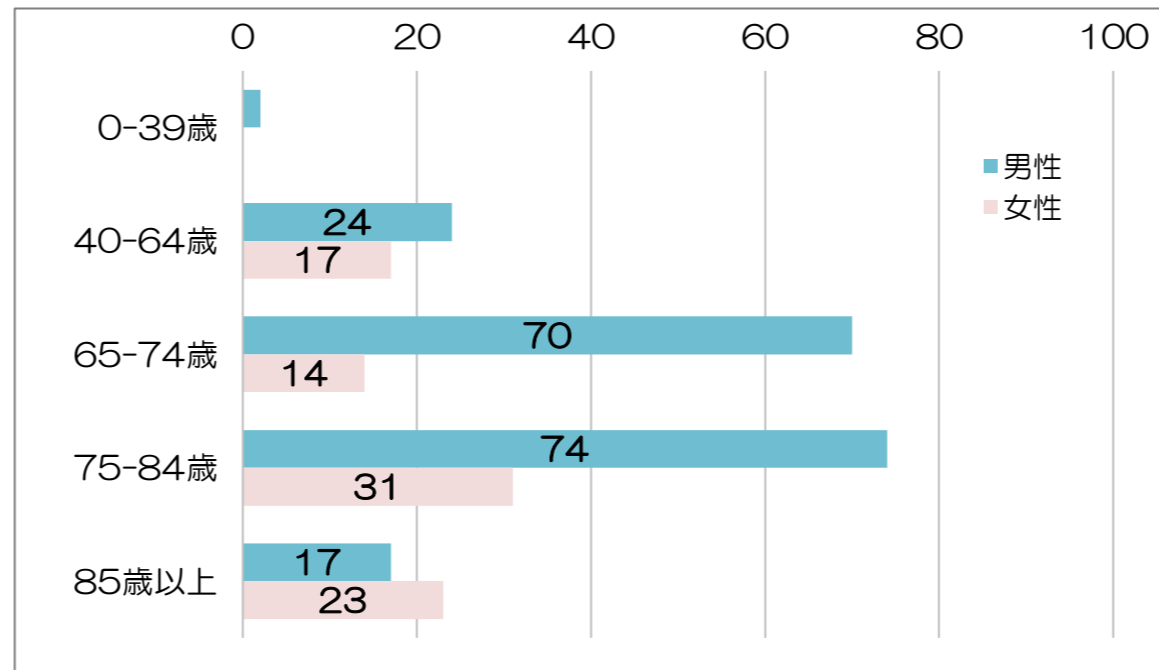
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

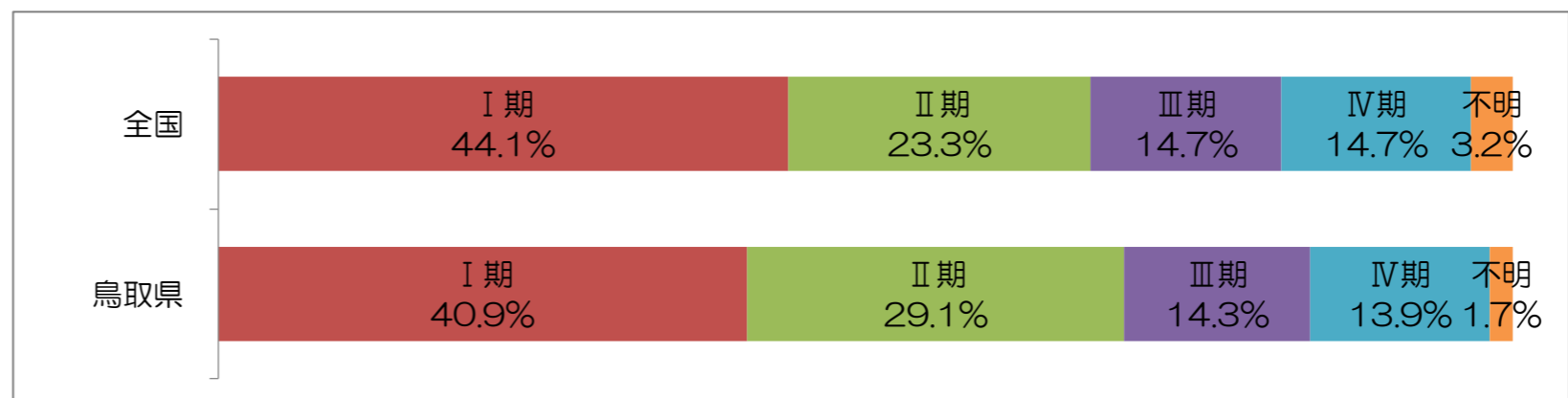


治療前ステージ別登録数

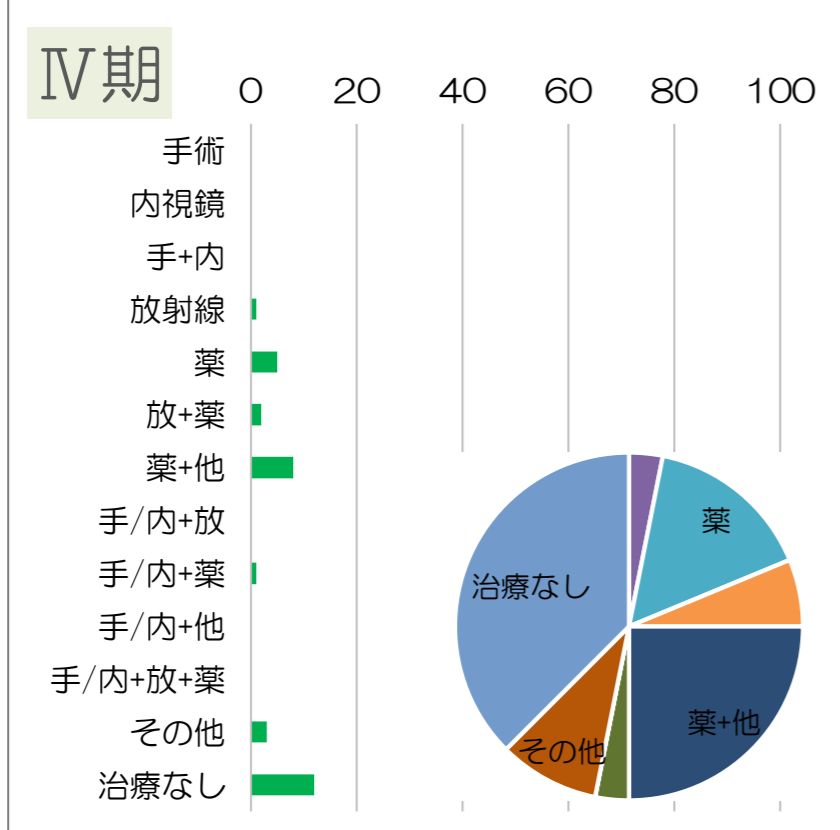
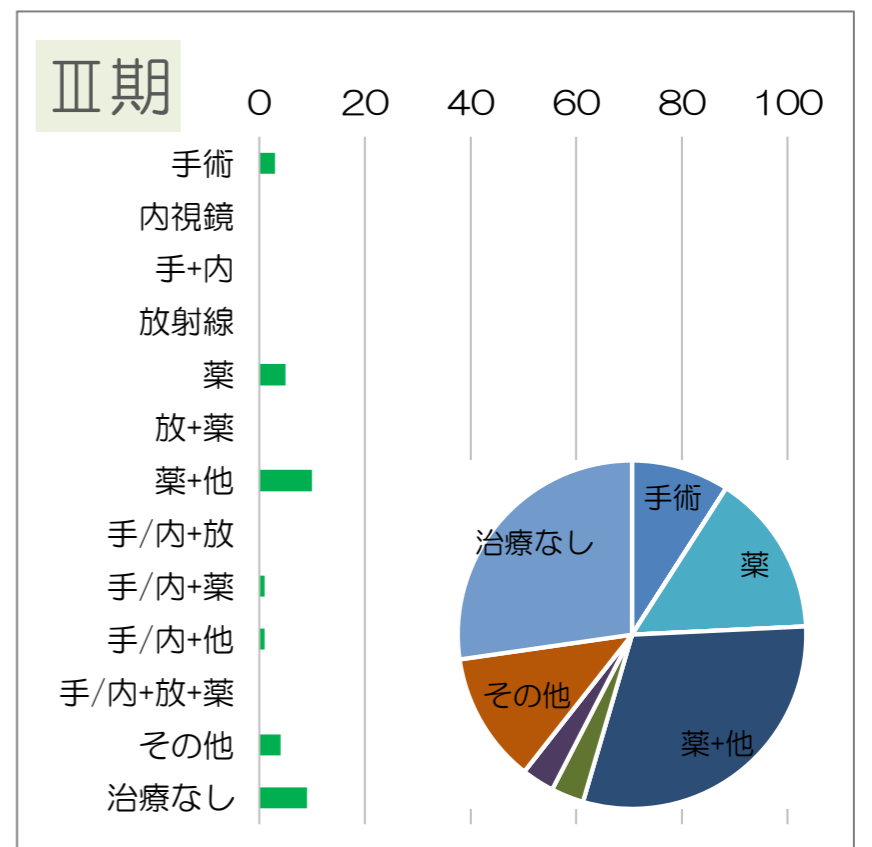
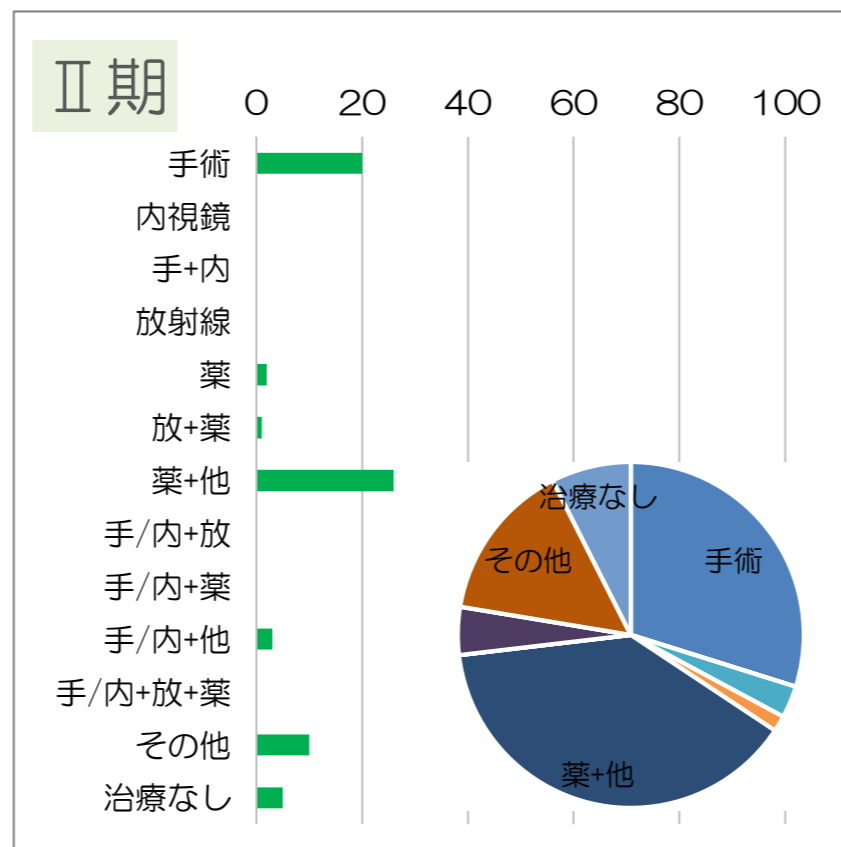
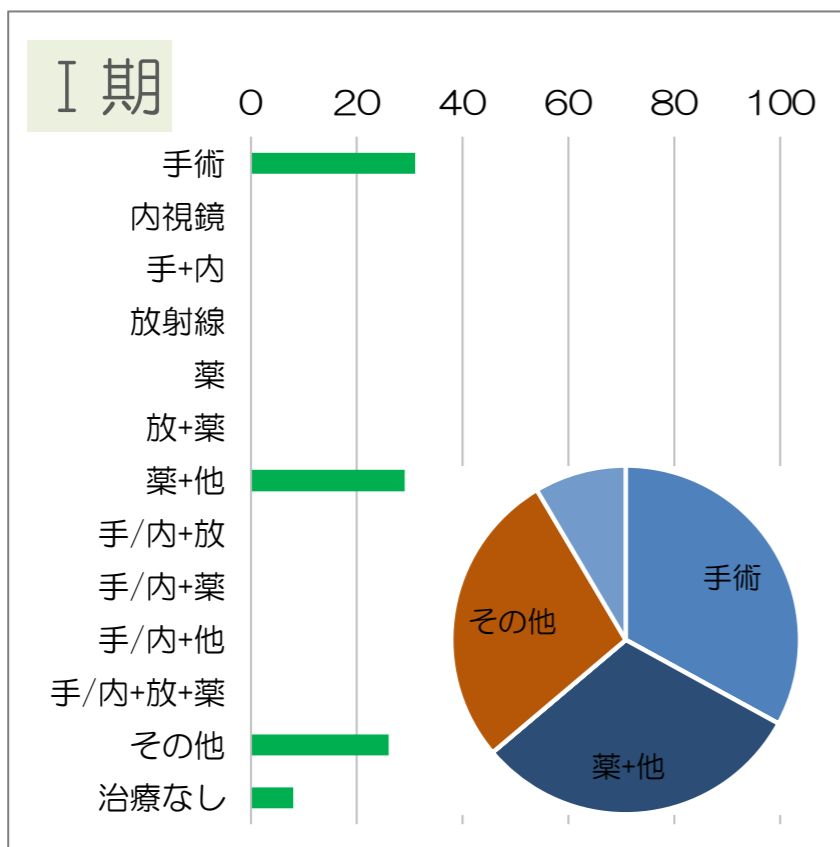
I期	II期	III期	IV期	不明	合計
94	67	33	32	(4-6)	230

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>



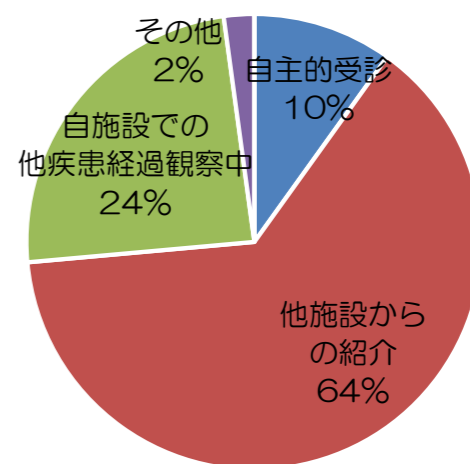
ステージ別治療方法



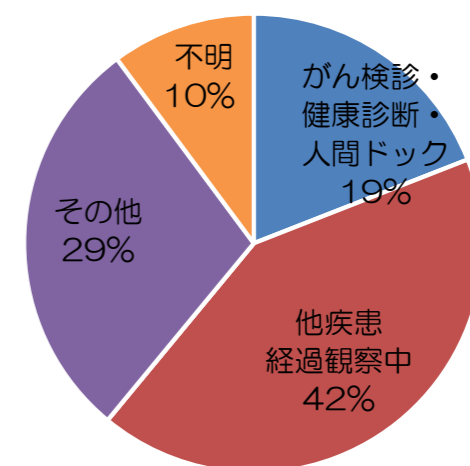
—肺(2016)—

肺がんは、男性568件、女性219件で総数は787件、男性が女性の2.6倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも81%強を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、I期が40%前後、IV期が約33%で最も多く、I期～IV期ともすべて全国とほぼ同じ割合を示す。
 ステージ別の治療方法は、I期では「手術」、II期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、III期では「放射線+薬物療法」、「薬物療法」、IV期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

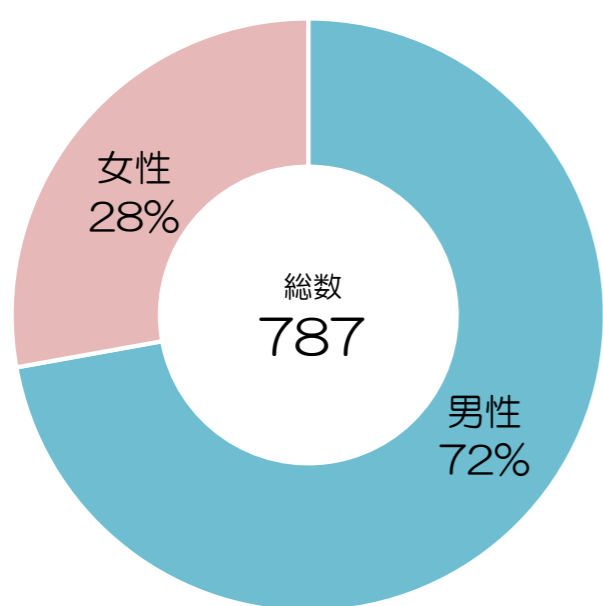
来院経路



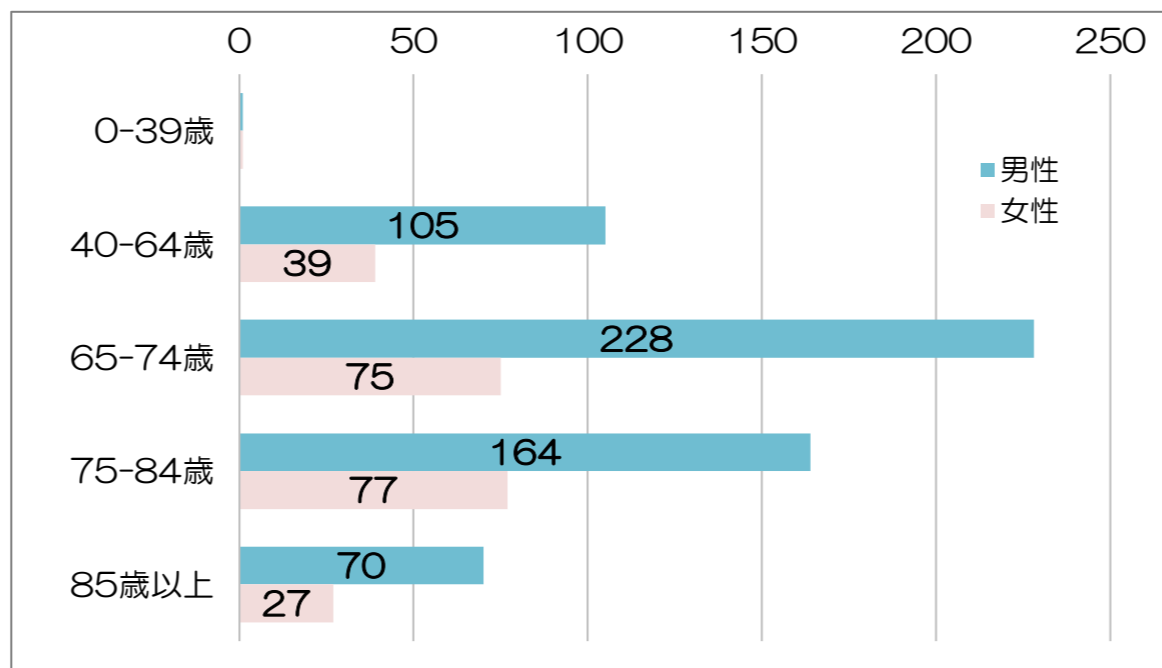
発見経緯



男女比



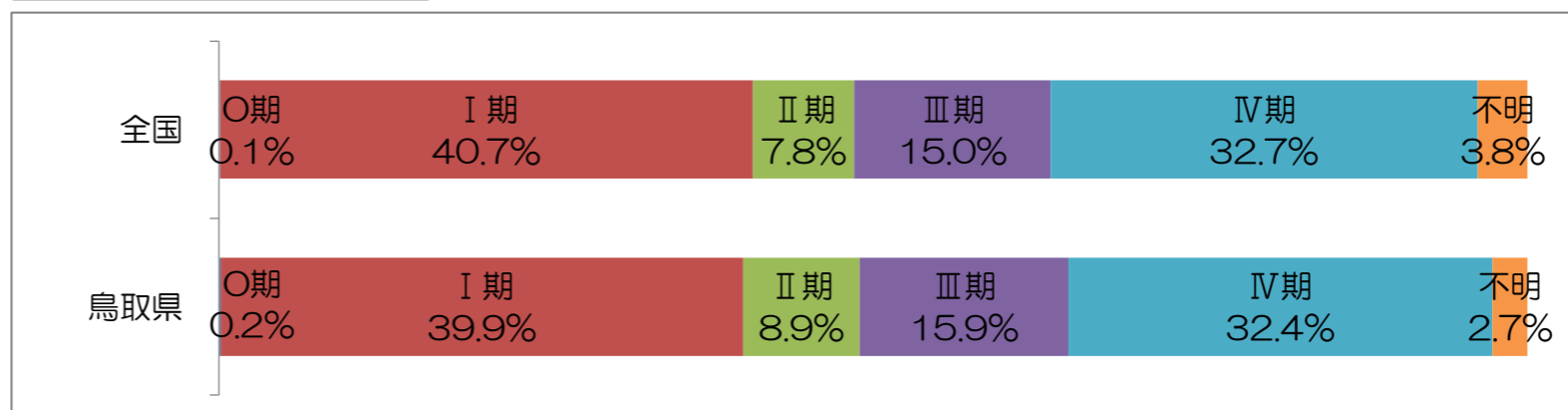
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

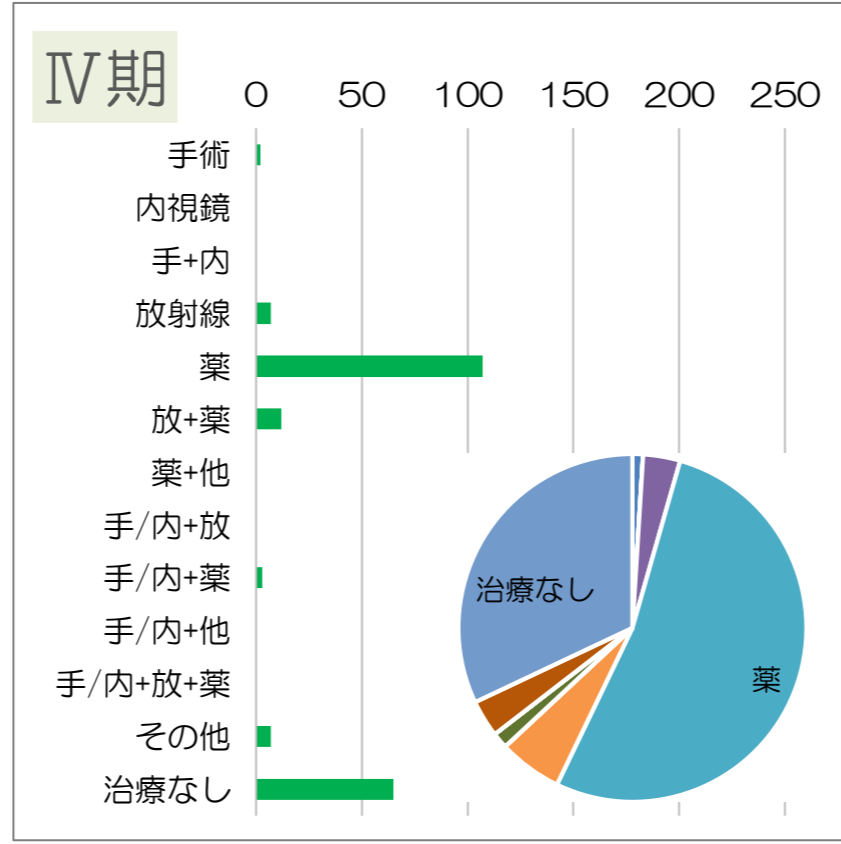
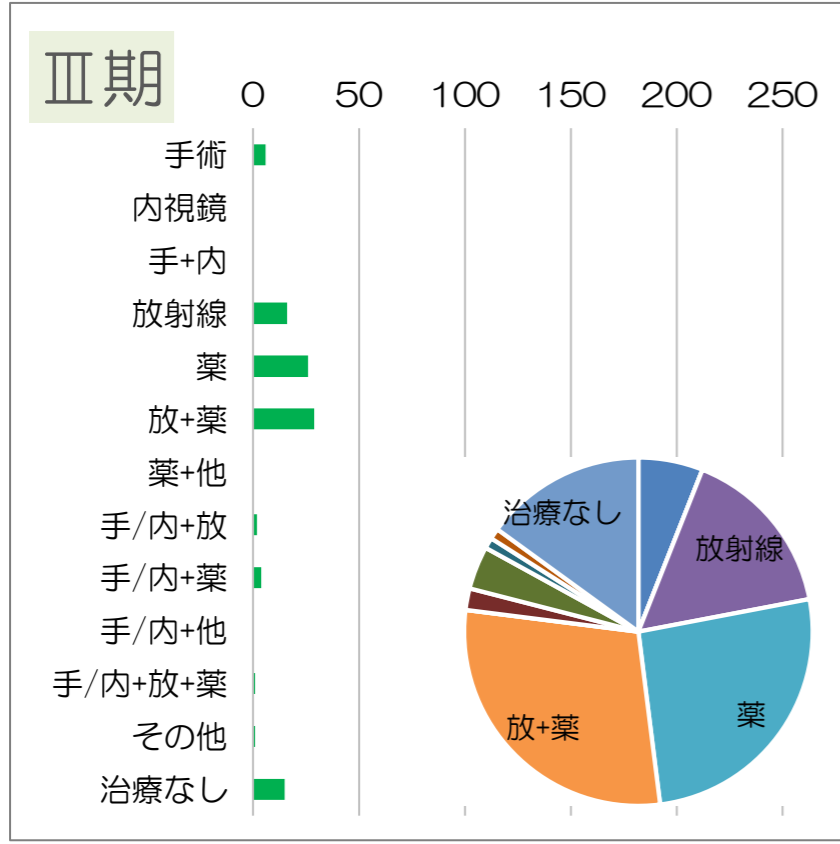
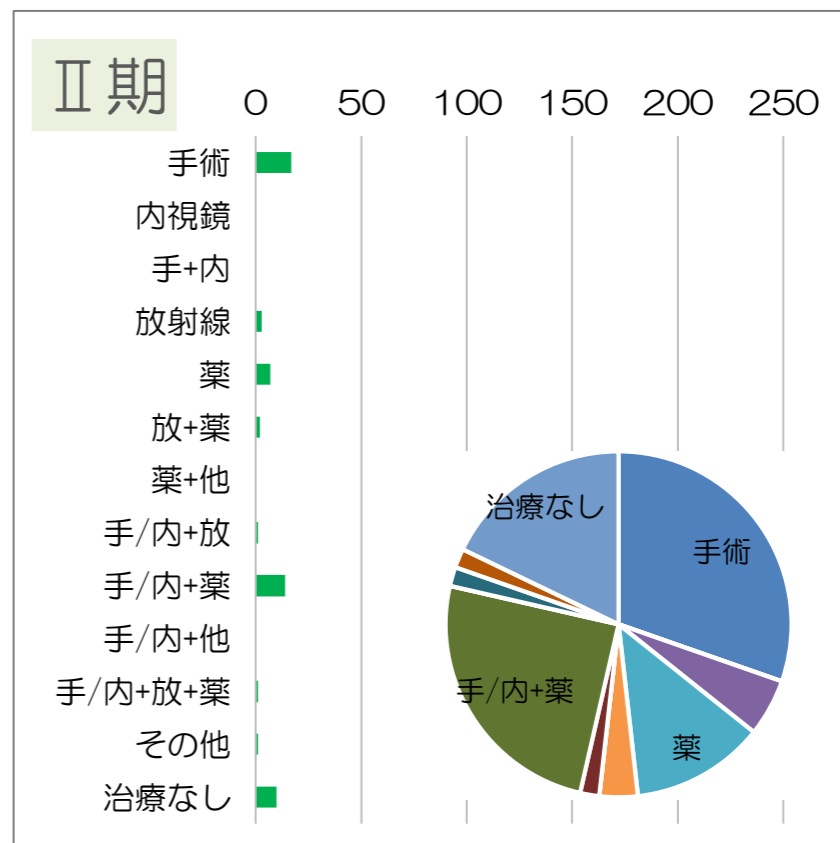
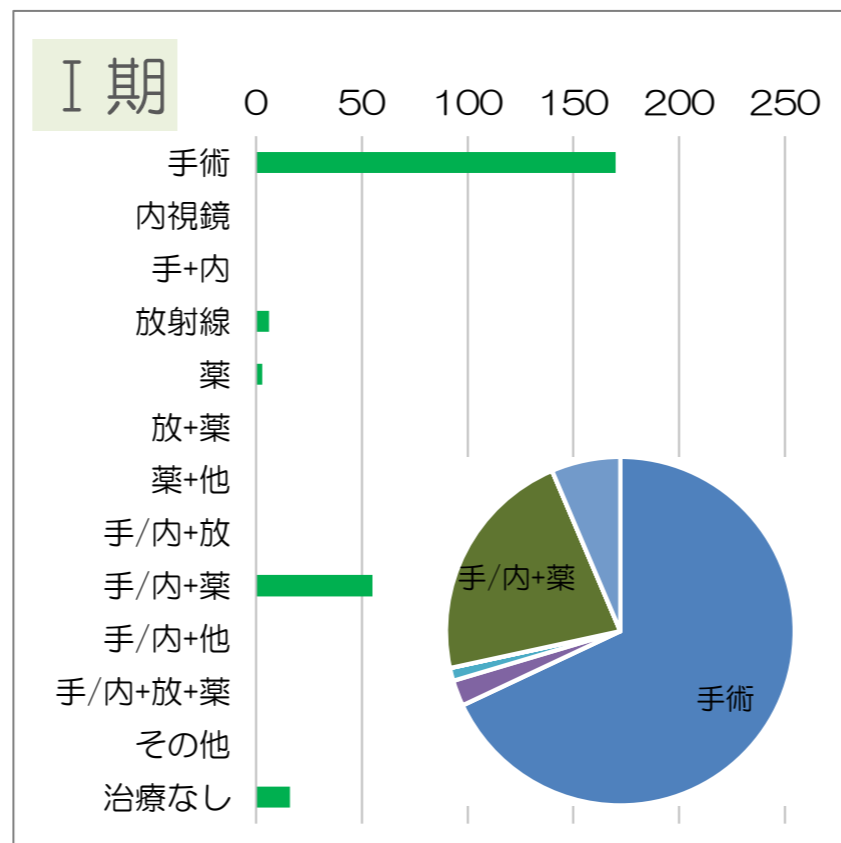
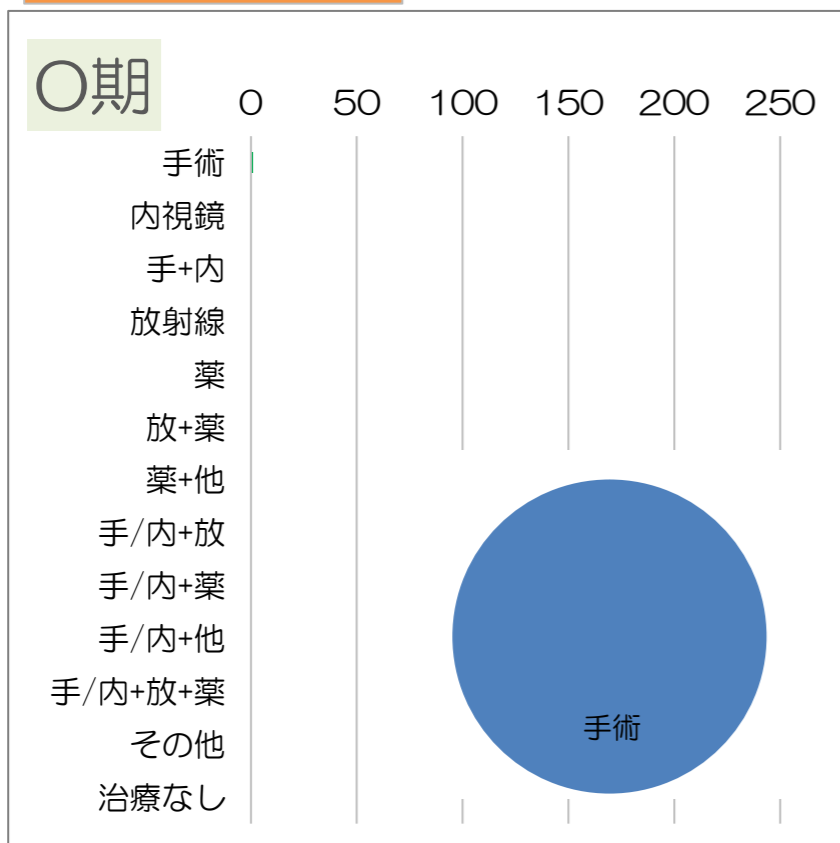
〇期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
(1-3)	250	56	100	203	17	627

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

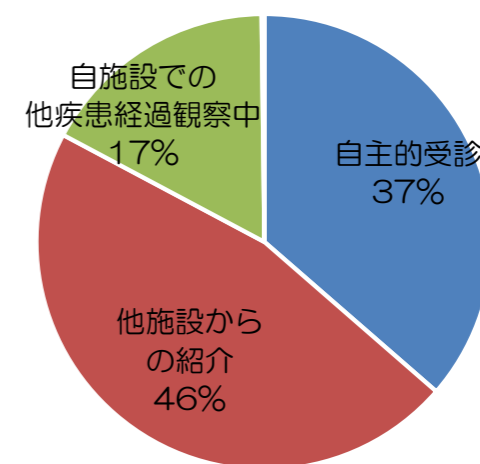
ステージ別治療方法



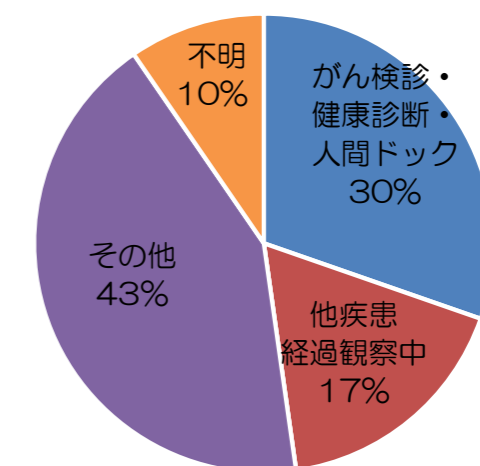
—乳房(2016)—

乳がんは、男性3件、女性508件で総数は511件、男性はわずかに1%で、女性がほとんどを占める。年齢階級別には、40-64歳が50%で半数を占め、その後年齢とともに減少する。ステージ別には、I期が最も多く、0期は全国が多いが、I期~IV期はすべて鳥取県が多い。ステージ別の治療方法は、0期では「手術」、I期~III期では「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」が大半を占め、「手術」は少ない。IV期では症例数は13件と少ないが、「薬物療法」がほぼ半数を占め、「治療なし」はゼロを示す。

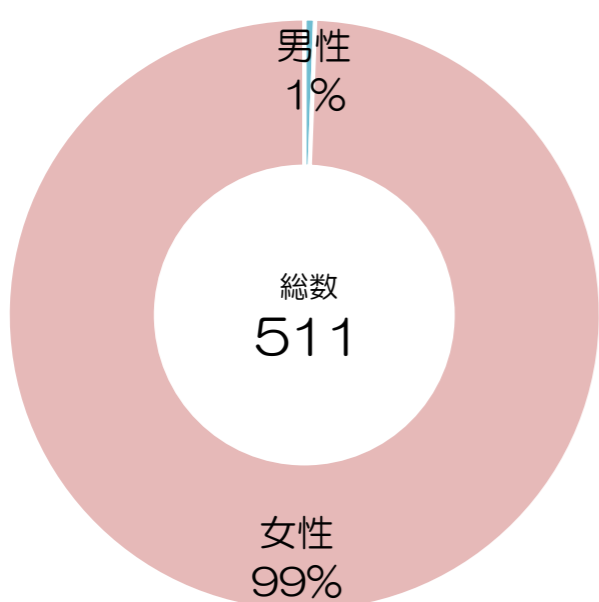
来院経路



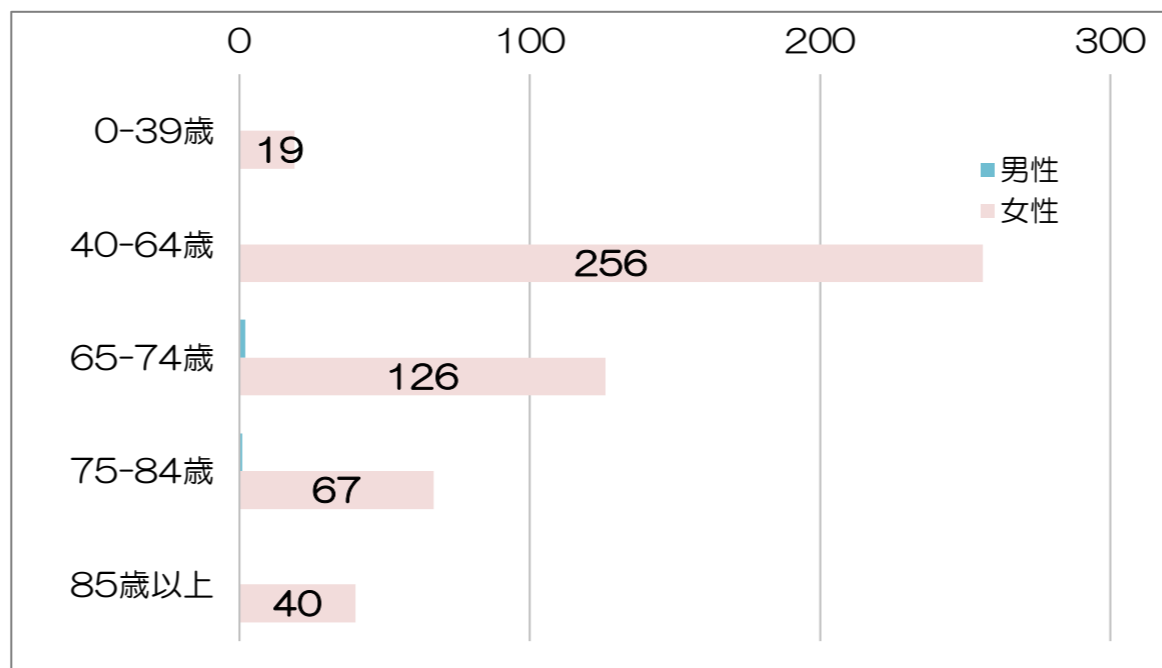
発見経緯



男女比



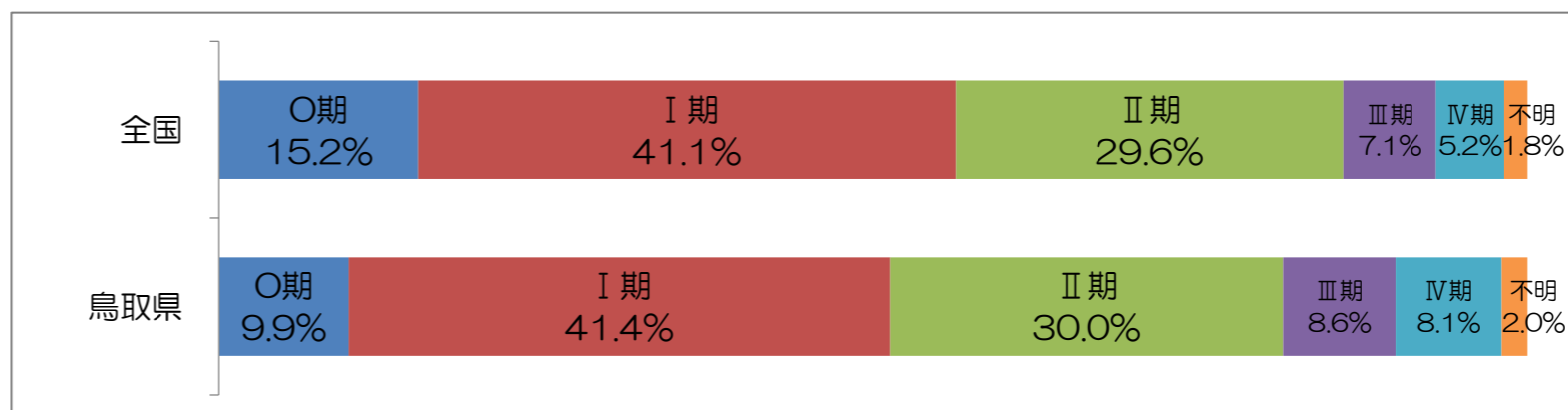
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

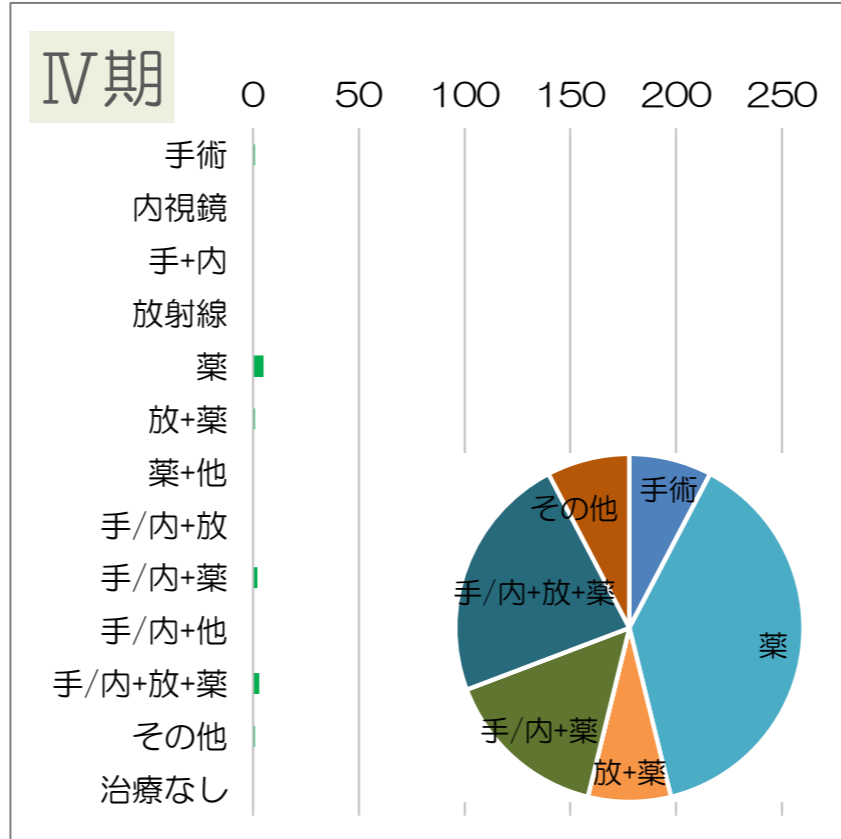
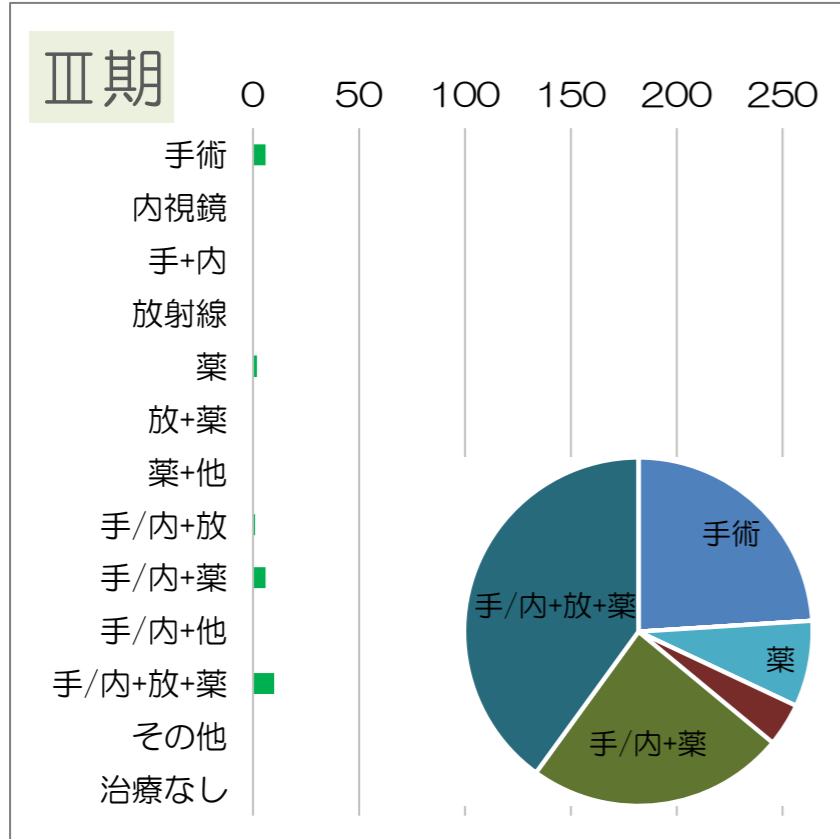
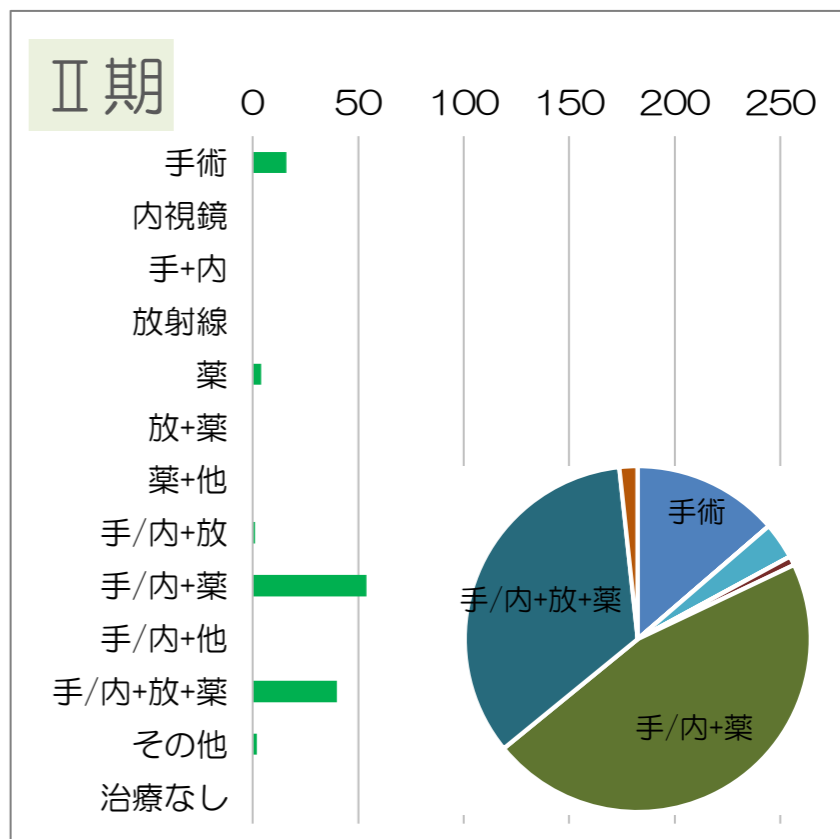
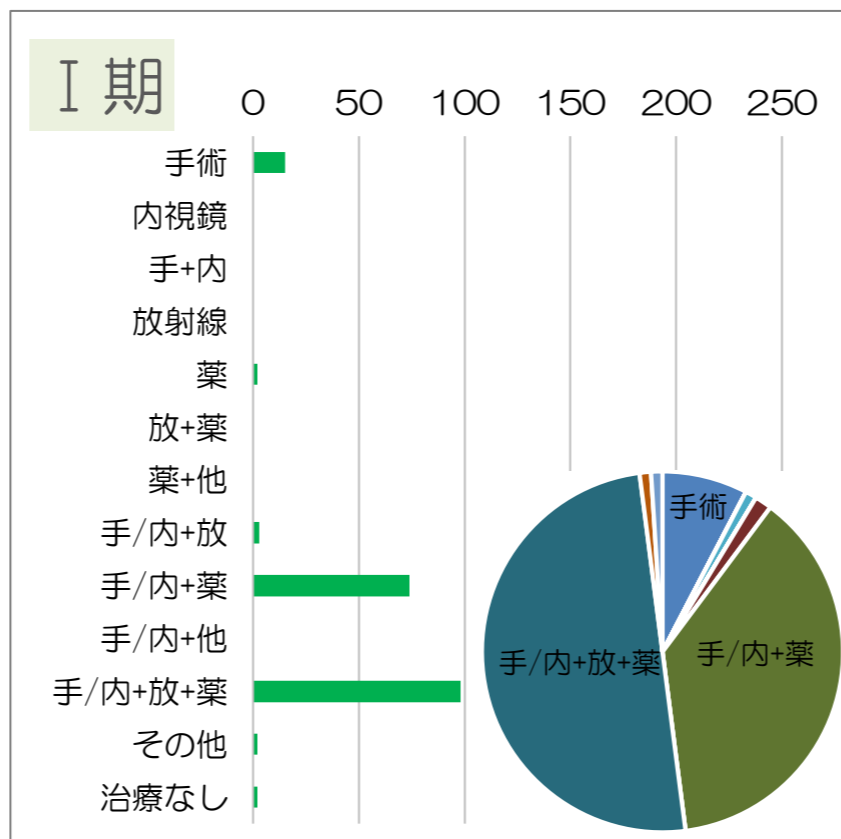
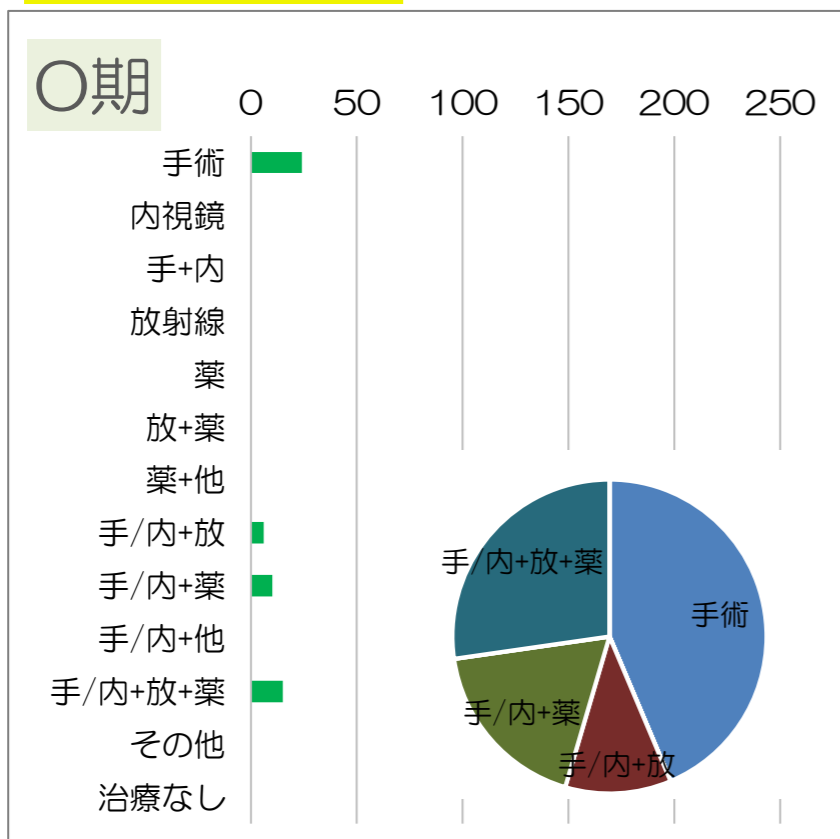
0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
55	196	117	25	13	(7-9)	413

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

ステージ別治療方法

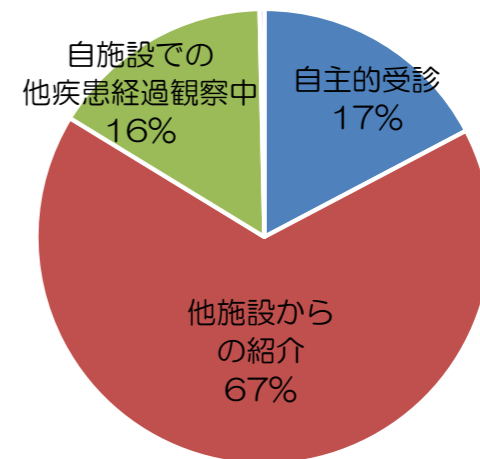


子宮(2016)

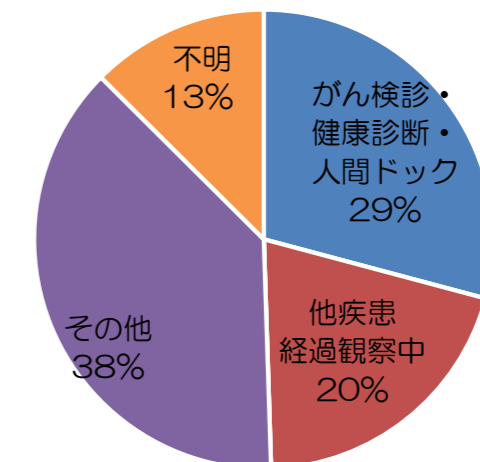
子宮がんは、総数295件、年齢階級別には、40-64歳が128件で最も多く、43%を占めるが、40歳未満では80件の27%を示す。

ステージ別には、子宮頸部は0期が最も多く、子宮体部はI期が最も多い。共に全国と近似する。ステージ別の治療方法は、0期では「手術」、I期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」で大半を占め、II期では「放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」で半数以上を占め、III期では、子宮頸部で「放射線+薬物療法」が41%、子宮体部で「手術/内視鏡+薬物療法」が35%を占め、IV期では子宮頸部の「治療なし」と「放射線+薬物療法」で53%を占める。

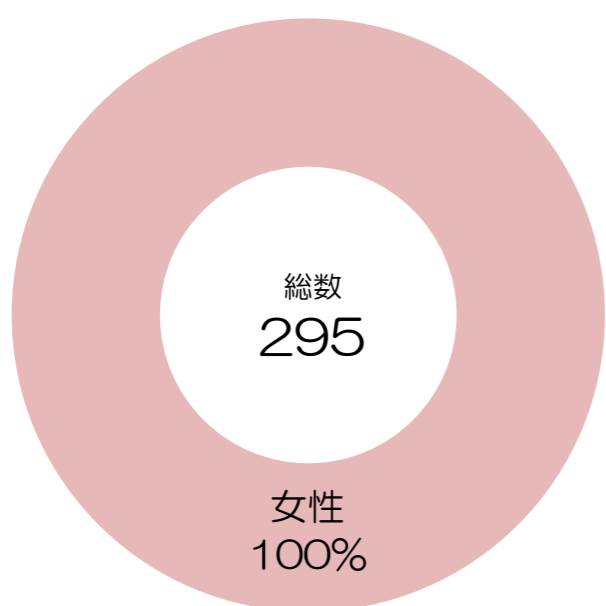
来院経路



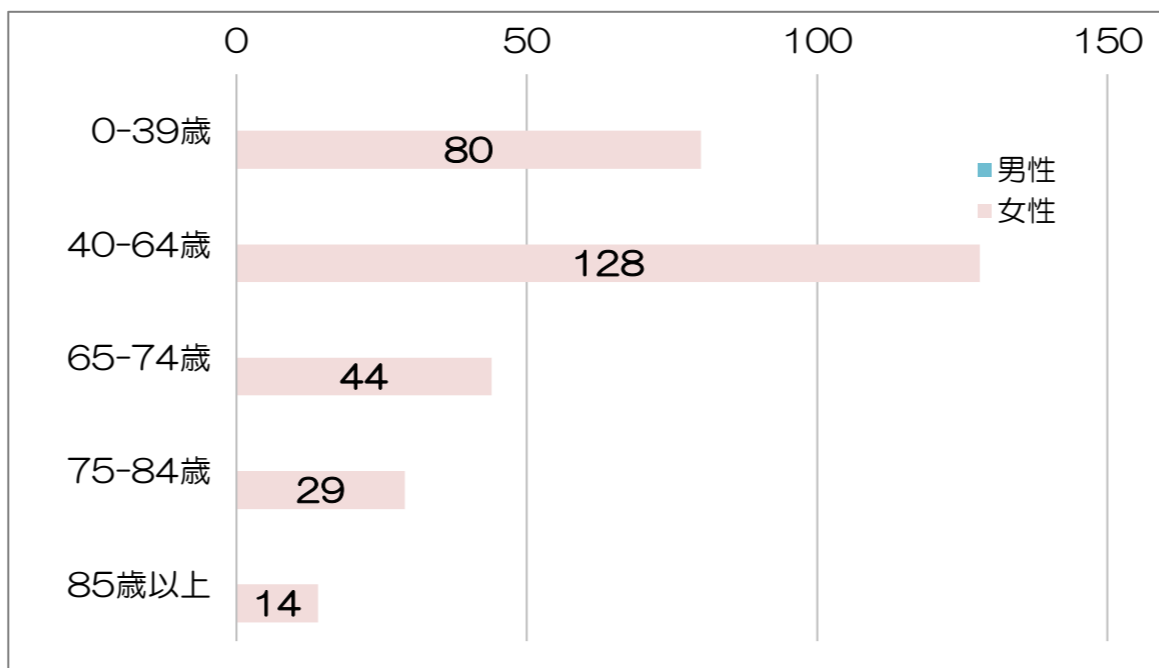
発見経緯



男女比



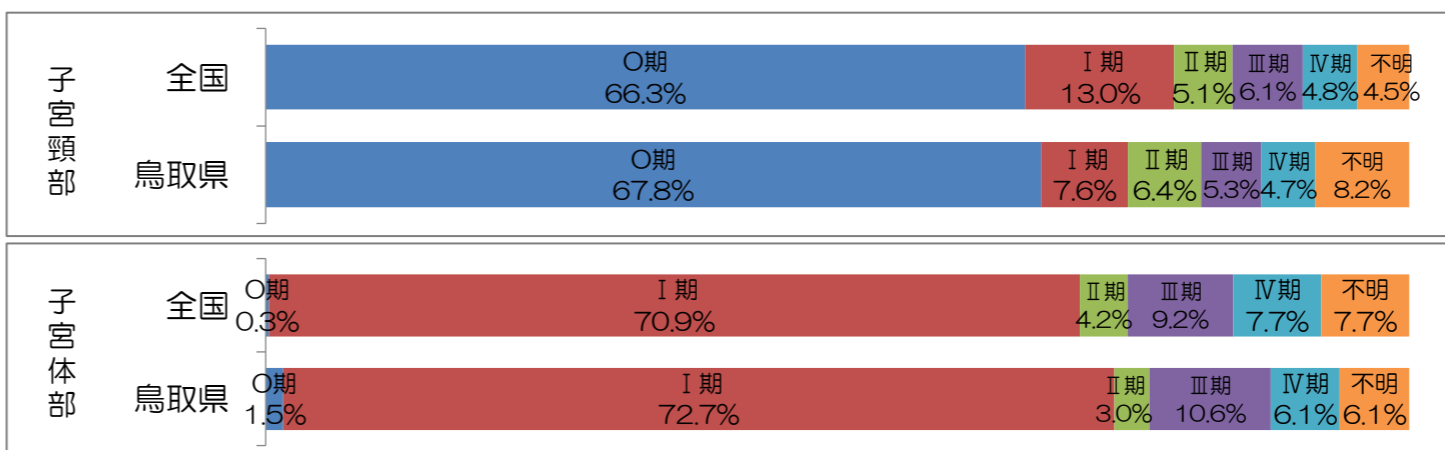
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

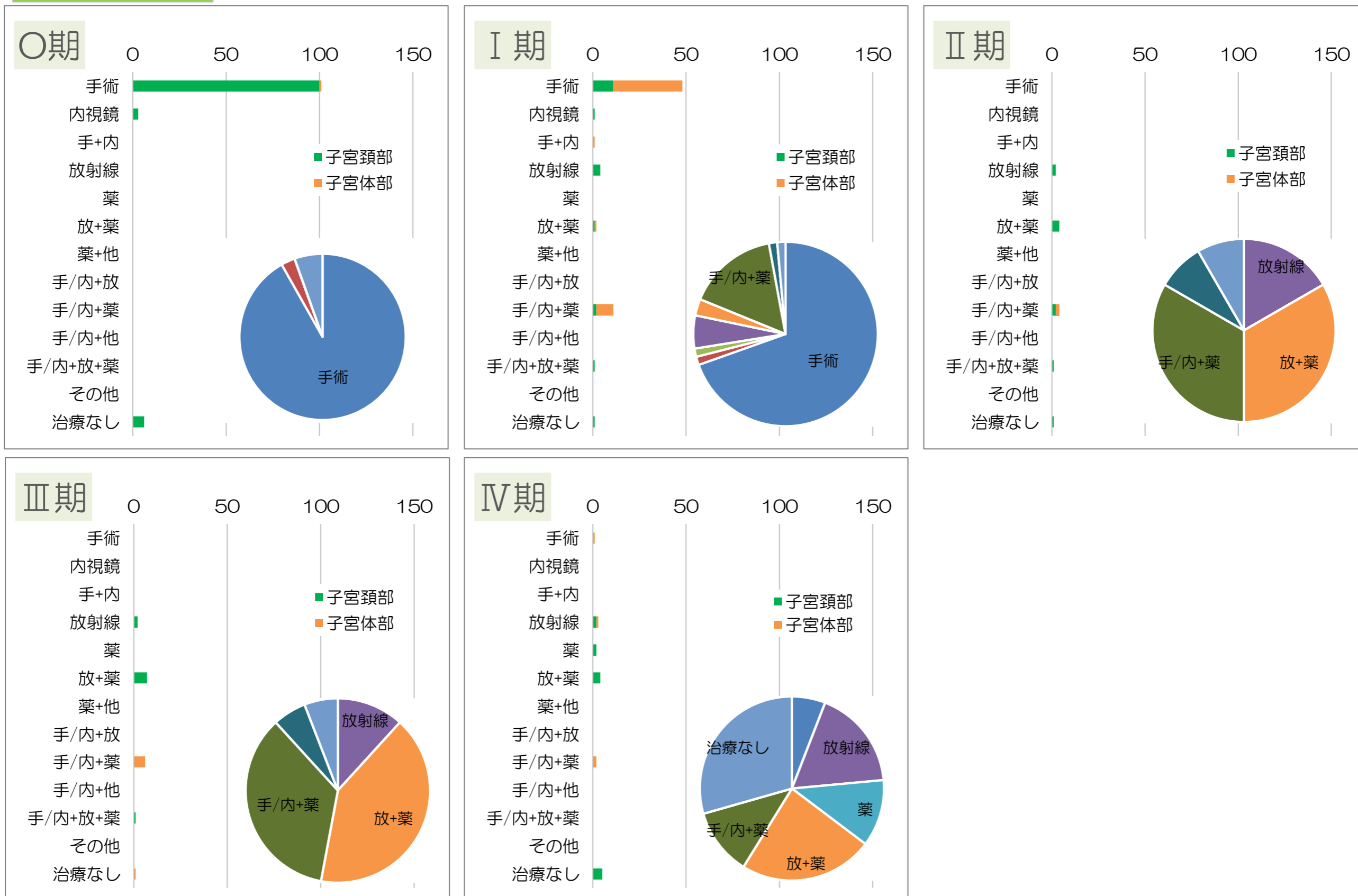
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
子宮頸部	109	21	10	10	13	(4-6)	167
子宮体部	(1-3)	48	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(4-6)	66

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

ステージ別治療方法



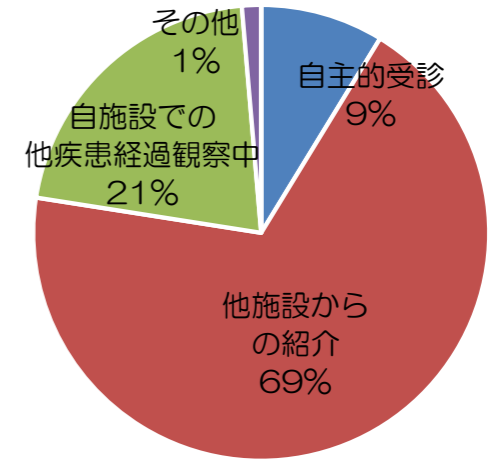
—前立腺(2016)—

前立腺がんは、総数515件、年齢階級別には、65-74歳が220件と最も多く、43%を占め、65歳以上は86%を示す。

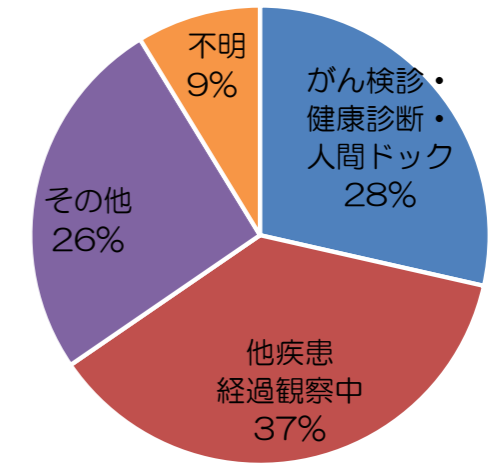
ステージ別には、I期が最も多いが、全国よりは少ない。II期～IV期はすべて鳥取県が多い。

ステージ別の治療方法は、I期では「薬物療法」、「治療なし」、「手術」で79%を占め、これに「放射線」や「放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」が加わり多種多様、II期では「薬物療法」、「手術」が大半を占め、III期では、これに「放射線+薬物療法」が加わり、IV期では治療のほとんどが「薬物療法」となる。

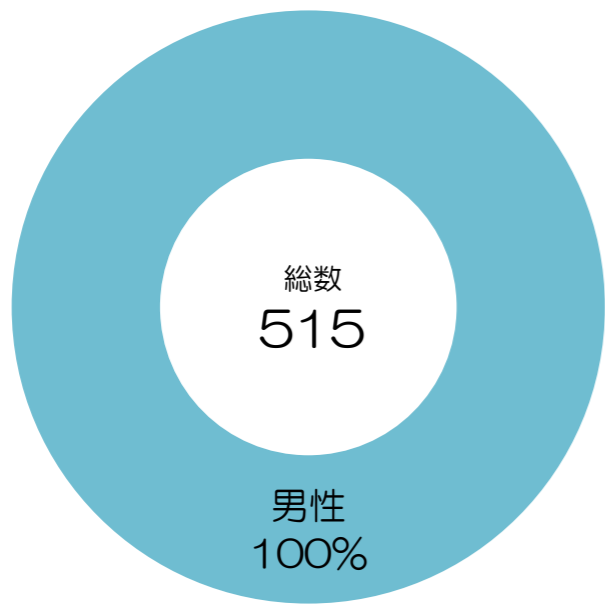
来院経路



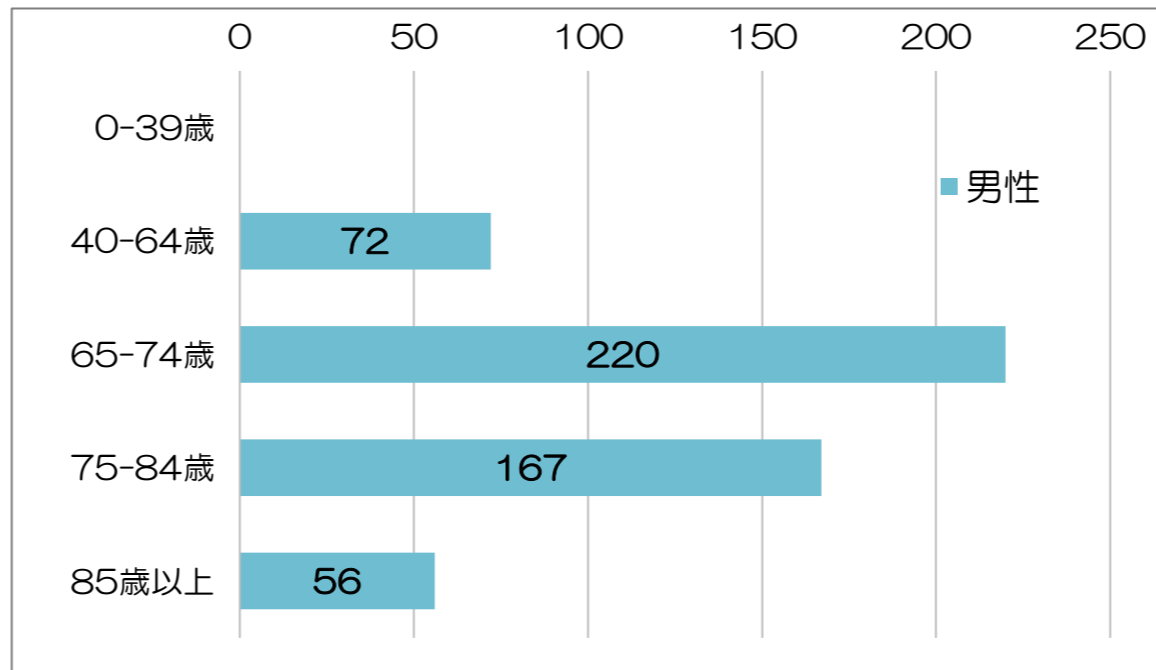
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

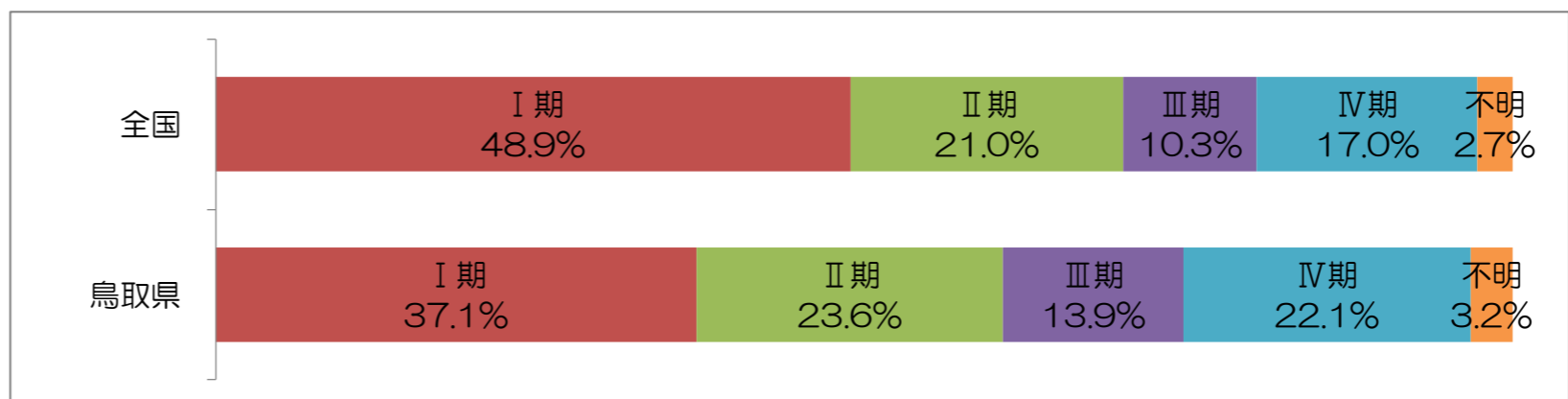


治療前ステージ別登録数

I期	II期	III期	IV期	不明	合計
149	95	56	89	13	402

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>



ステージ別治療方法

